

上里町まちづくりアンケート
(第6次上里町総合振興計画・
第3期上里町総合戦略)
集計結果報告書

令和7年12月

上里町

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の概要	1
3	報告書の見方・留意点	2
II	調査結果（まとめ）	3
III	調査結果（全体編／単純集計の結果）	5
1	回答者の基本属性	5
(1)	性別	5
(2)	年齢	5
(3)	職業等	5
(4)	業種【職業がある方のみ】	6
(5)	居住地	6
2	住まいについて	7
(1)	現在のお住まい	7
(2)	居住年数	7
(3)	直前の居住地	8
3	子育て支援について	9
(1)	子どもの有無	9
(2)	子育て支援についての要望	9
4	現在の暮らし・仕事について	10
(1)	幸福度	10
(2)	満足度	10
(3)	住みよさ	10
(4)	居住意向	12
(5)	成長の機会	13
(6)	就職の難易度	13
5	健康について	14
(1)	健康認識	14
(2)	健康だと思う理由	14
(3)	不健康だと思う理由	15
(4)	運動の回数	15
6	生涯学習について	16
(1)	現在の状況	16
(2)	今後の希望	16
7	防災について	17
(1)	防災の実践	17

(2)	防災の情報源	17
8	環境問題の関心テーマについて	18
9	公共交通対策について	18
10	産業振興策について	19
(1)	農業の振興策	19
(2)	商業の振興策	19
(3)	工業の振興策	20
(4)	観光業の振興策	20
11	男女共同参画の推進について	21
12	教育環境への取組について	21
13	地域との関わりなどについて	22
(1)	ボランティア活動の参加有無	22
(2)	参加した分野	22
(3)	参加したい分野	23
(4)	国際交流	23
(5)	交流の場	23
(6)	地域との関わり方	24
14	デジタル化について	25
15	行政運営について	26
(1)	行政運営に対する評価	26
(2)	役場窓口の開庁時間	26
16	まちづくりの方向について	27
(1)	今後の方向性	27
(2)	まちづくり活動への参加意向	27
(3)	参加したい分野	28
17	各分野の満足度・重要度について	28
(1)	各分野の満足度	28
(2)	各分野の重要度	32
IV	調査結果（分析編／クロス集計の結果）	35
1	クロス集計	35
2	経年比較	51
3	C S分析（満足度と重要度の相関関係）	53
V	自由意見のまとめ	57
1	自由意見の概要	57
2	自由意見の具体例	58
VI	調査票	67

I 調査の概要

1 調査の目的

上里町では、現在、第5次上里町総合振興計画後期基本計画に基づき「ひと・まち・自然が共に輝く“ハーモニータウン かみさと”」の将来像のもと、町民の皆様と共に全力でまちづくりを進めております。同時に、町の人口減少対策である「第2期上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも取り組んでおります。

この度、令和9年度を初年度とする第6次上里町総合振興計画及び第3期上里町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、令和4年度にスタートした第5次総合振興計画後期基本計画の検証を行うとともに、町民の皆様のご意見を把握するためにアンケート調査を実施しました。

2 調査の概要

■調査対象

調査対象	上里町に居住する18歳以上の2,000名
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和7(2025)年9月5日～9月22日

■調査方法と回収率

調査名	配布方法	配布数	回収方法	有効回収数	有効回収率
まちづくりアンケート	郵送法	2,000	郵送	542	27.1%
			インターネットサイト	175	8.8%
			(合計)	717	35.9%

※対象者全員に紙の調査票を配布し、表紙に郵送での回答とインターネットサイトでの回答のどちらかを選択できるように表記しています。

※インターネットからの回答については、回答が完了しておらず、回答率が全体の3分の1(33%)を下回るものについては無効票扱いとしました。

3 報告書の見方・留意点

- 図表中のn (number of cases) は、回答者数のことです。
- 設問の中には前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、その設問においては表中の「回答者数」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答える単数回答と、「3つまで」、「あてはまるものすべて」などの回答を求める複数回答があり、複数回答の設問では、表記の割合の合計が100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第2位で四捨五入しているため、表によってはその割合の合計が100%にならないものがあります。
- 回答が0であった選択肢については、一部表記を省略しています。
- 各設問の選択肢等について、意味を損なわない範囲で表現を簡略化している場合があります。
- クロス分析では、「無回答」は除外して分析しています。
- クロス分析でのポイント差については、グラフ上に表記された割合の値で計算した差と、説明文に記載された差の値が0.1ポイント大きくまたは小さくなる場合があります。これは、グラフ上に表記されている割合の値が小数第2位を四捨五入している一方、説明文に記載されている差の値は、四捨五入する前の値で計算しているため、違いが生じることがあります。

Ⅱ 調査結果（まとめ）

■ 1 住まいや暮らしについて

住まいについては、戸建ての持ち家比率が約9割となっており、居住年数は「20年以上」が半数を超えています。

現在の暮らしについて、幸福度については、10点満点で8点以上の人が4割を超えています。暮らしの満足度については、8割以上が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答しており、住みよさについても8割以上が「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答しています。住みよい理由としては、「買い物の場所や手段が充実している」、「町外への交通の便がよい」などが評価されています。一方、住みよくない理由としては「町内の交通の便が悪い」、「医療・福祉のサービスが不十分」などが挙げられています。

■ 2 子どもと子育て支援、教育環境について

子どもの有無については、子どもがいない世帯は約3割、子どものいる世帯が約6割となっています。子育て支援の要望については、「子育て・教育における経済的な負担の軽減」が約半数で最も高く、次いで「若い世代の経済的安定」が約4割となっています。学校を取り巻く教育環境に何が必要かについては、「子どもの安全、安心のための設備の拡充」が約5割で最も高く、次いで「教員の数を減らさずに質の高い教育」が約4割となっています。

■ 3 成長の機会や仕事について

上里町には新たな事に挑戦・成長するための機会があるかについてみると、約5割が「あると思う」「どちらかといえばあると思う」と回答し、約4割半が「どちらかといえばないと思う」「ないと思う」と回答しており、拮抗しています。上里町ではやりたい仕事を見つけやすいかについては、約7割が「どちらかといえば見つけにくい」「見つけにくい」と回答しています。

■ 4 健康や生涯学習について

自分自身を健康と思うかについては、約8割が「そう思う」「ややそう思う」と回答しています。健康と思う理由としては、「食事の量やバランスなどに気をつけているから」や「規則正しい生活を心がけているから」がそれぞれ約4割となっています。

生涯学習については、現在学んでいる割合が高いのは「体操、健康づくり、スポーツ」で2割半となっています。今後学びたい割合が高いのは「園芸、食生活、健康管理などの家庭生活」で約5割となっています。

■ 5 防災や環境問題について

災害に備えて実践していることについて、「防災備品の準備」については約7割が「行っている」「少し行っている」と回答しています。一方、「まったく行っていない」の割合が最も高いのは「家具の転倒防止策」で、約4割となっています。災害時の情報源については、「テレビ」が約8割、「町の防災行政無線」が約6割、「インターネットからの災害情報」が約5割となっています。

関心のある環境問題については、「地球温暖化・気候変動」が約7割半と最も高くなっています。

■ 6 公共交通や産業振興について

充実してほしい交通手段についてみると、「高崎線の利便性の確保」と「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」が約4割となっています。

各産業振興で強化すべき取組については、農業では「農業後継者の育成」が約5割、商業では「神保原駅周辺や国道17号沿線の商業環境の整備」が約5割、工業では「工業用地の整備と優良企業の誘致」が約4割半、観光業では「観光農業や河川の自然環境を活用した上里S A周辺地区の整備事業の推進」が約4割半となっています。

■ 7 デジタル化や行政運営について

町が注力すべきデジタル化の取組については、「子どもが過度にSNS等に依存することを防いだり、SNS等を介した犯罪等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」や「高齢者がサイバー犯罪等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」が約3割半となっています。

行政運営については、特に来訪者への対応に関する評価は高く、約7割半が「非常に良い」「良い」と回答しています。役場窓口の開庁時間については、平日・休日ともに「今のままでよい」が6割を超えているものの、「現在よりも開庁時間を長くしてほしい」は平日・休日とも約2割となっています。一方「窓口業務のデジタル化推進等により開庁時間を短くしてもよい」は、休日では約1割となっています。

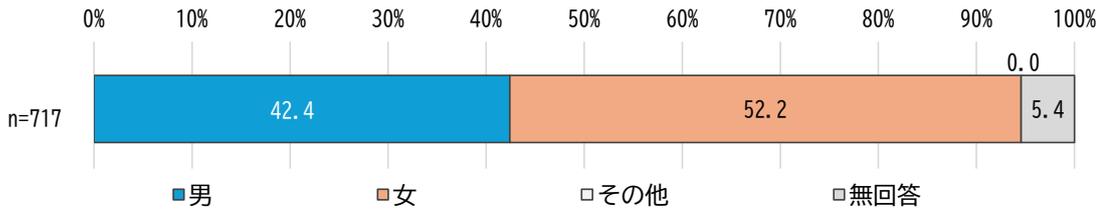
まちづくりの方向性については、「事故や犯罪のない安全安心なまち」が約5割で最も高くなっています。まちづくり活動への参加意向については、「どちらともいえない」が約5割半と最も高くなっています。

Ⅲ 調査結果（全体編／単純集計の結果）

1 回答者の基本属性

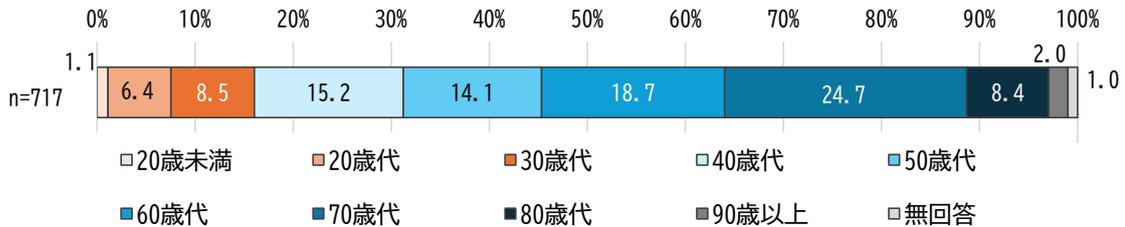
（1）性別

性別についてみると、男性 42.4%、女性 52.2%、無回答 5.4%となっています。



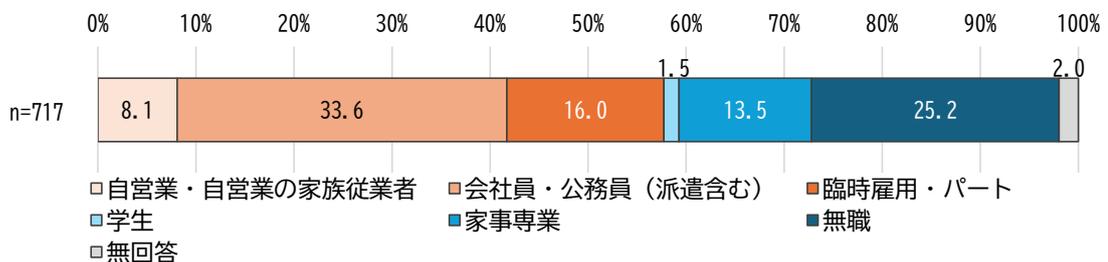
（2）年齢

年齢についてみると、「70歳代」が24.7%と最も多く、次いで「60歳代」(18.7%)、「40歳代」(15.2%)、「50歳代」(14.1%)が続きます。30歳代まで（「30歳代」8.5%、「20歳代」6.4%、「20歳未満」1.1%）は16%、80歳以上（「80歳代」8.4%、「90歳以上」2.0%）の合計は10.4%となっており、「無回答」は1.0%となっています。



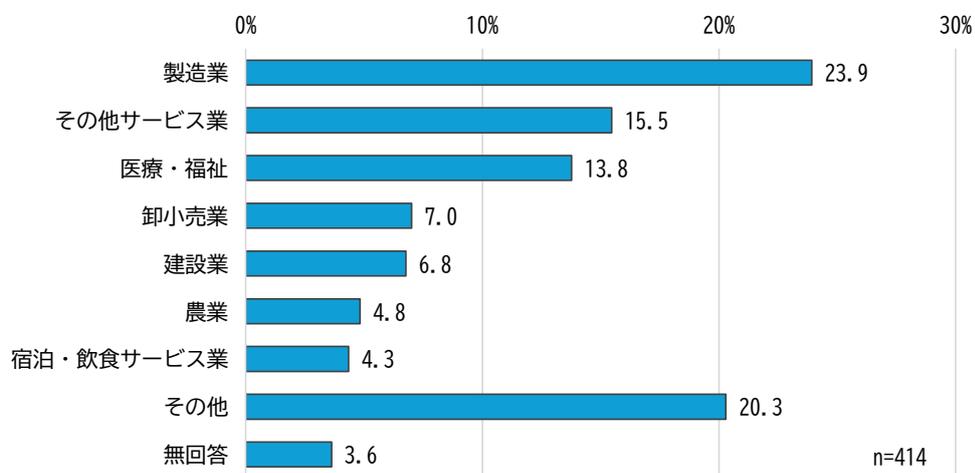
（3）職業等

職業についてみると、「会社員・公務員（派遣含む）」が33.6%と最も多く、次いで「無職」が25.2%、「臨時雇用・パート」が16.0%となっています。



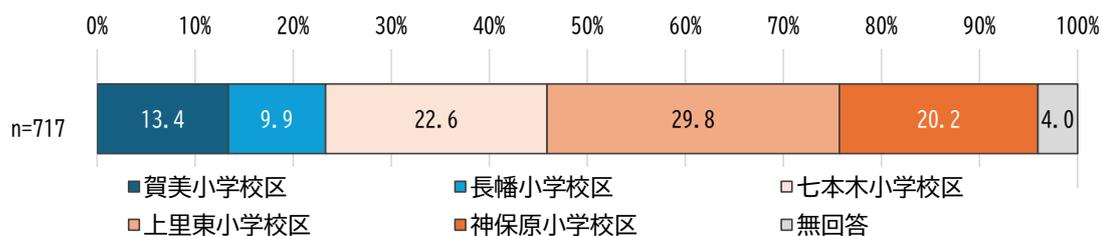
(4) 業種【職業がある方のみ】

業種についてみると、「その他」(20.3%)を除き、「製造業」が23.9%と最も多く、次いで「その他サービス業」が15.5%、「医療・福祉」が13.8%となっています。



(5) 居住地

居住地区についてみると、「上里東小学校区」が29.8%と最も多く、次いで「七本木小学校区」が22.6%、「神保原小学校区」が20.2%となっています。



2 住まいについて

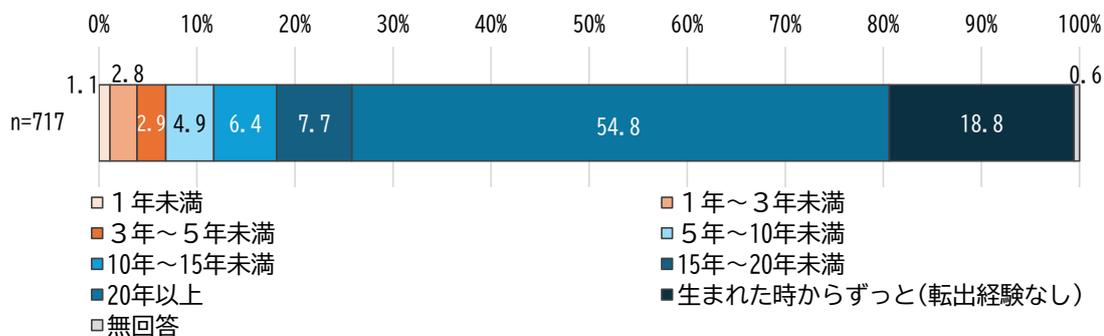
(1) 現在のお住まい

現在のお住まいについてみると、「戸建て（持ち家）」が91.4%と最も多く、次いで「民間の賃貸アパート」が3.2%、「戸建て（借家）」が2.4%となっています。



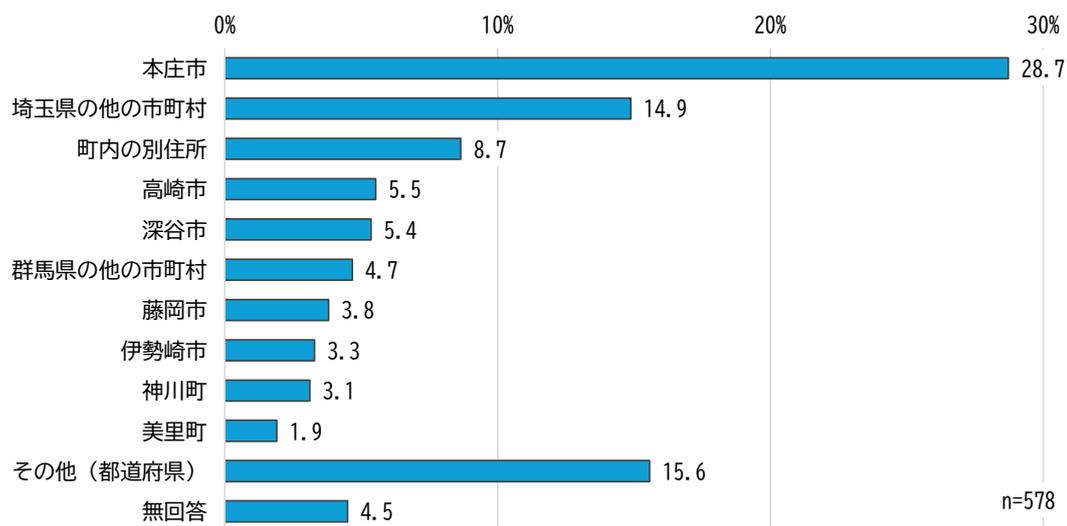
(2) 居住年数

上里町に住み始めてからの居住年数についてみると、「20年以上」が54.8%と最も多く、次いで「生まれた時からずっと」が18.8%、「15年～20年未満」が7.7%となっています。



(3) 直前の居住地

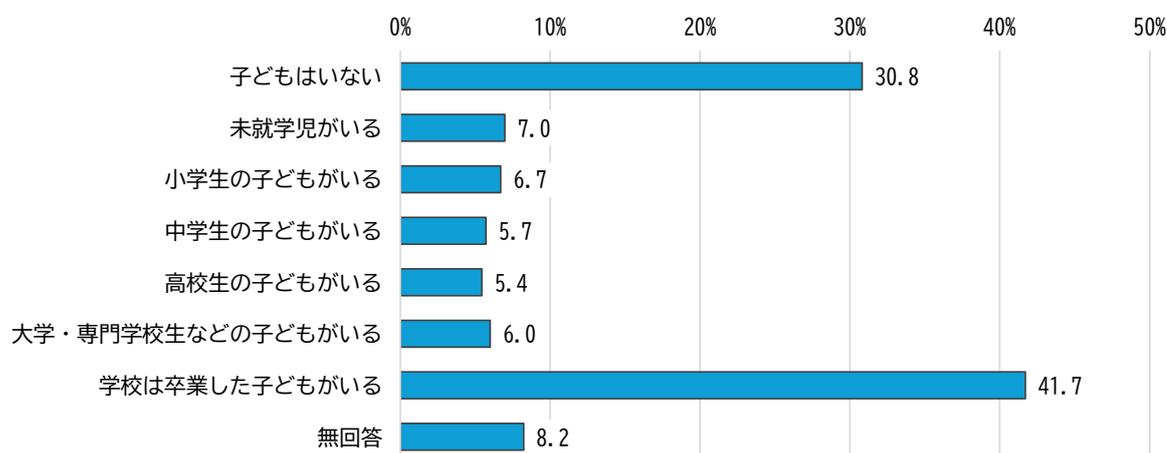
居住年数が1年未満から20年以上を選択した方に、現住所に来られる直前の居住地について伺ってみると、「本庄市」が28.7%と最も多く、次いで「埼玉県の他の市町村」(14.9%)、「町内の別住所」(8.7%)が続きます。



3 子育て支援について

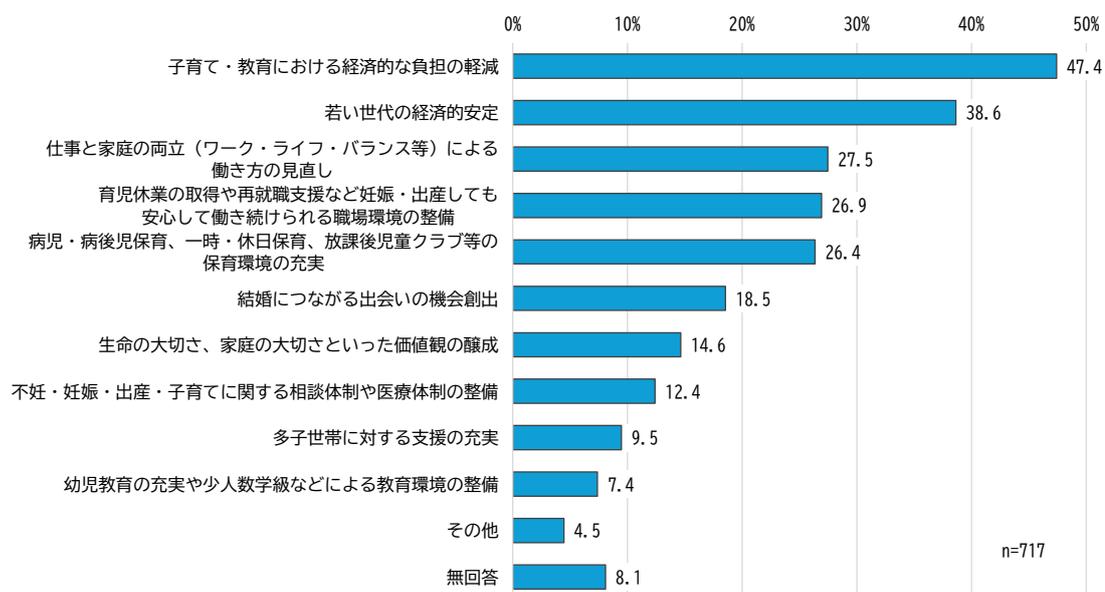
(1) 子どもの有無

現在お子さんはいるかについてみると、「学校は卒業した子どもがいる」が41.7%と最も多く、次いで「子どもはいない」が30.8%、「未就学児がいる」が7.0%となっています。



(2) 子育て支援についての要望

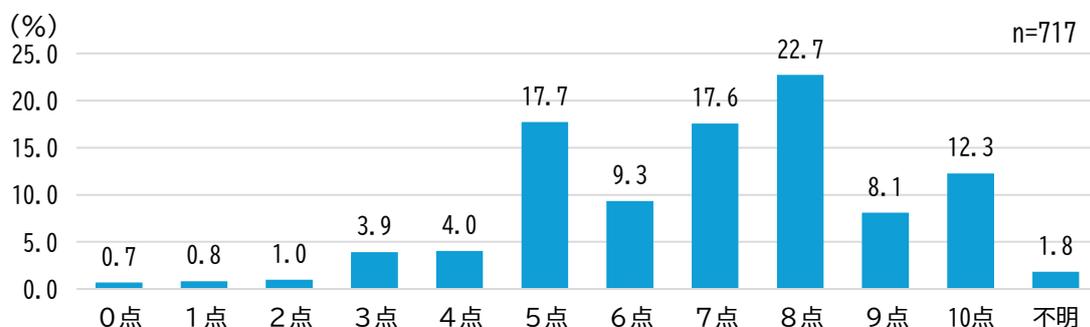
結婚・出産・子育ての支援について町はどのような取組に力を入れるべきかを伺ってみると、「子育て・教育における経済的な負担の軽減」が47.4%と最も多く、次いで「若い世代の経済的安定」が38.6%、「仕事と家庭の両立による働き方の見直し」が27.5%と続きます。



4 現在の暮らし・仕事について

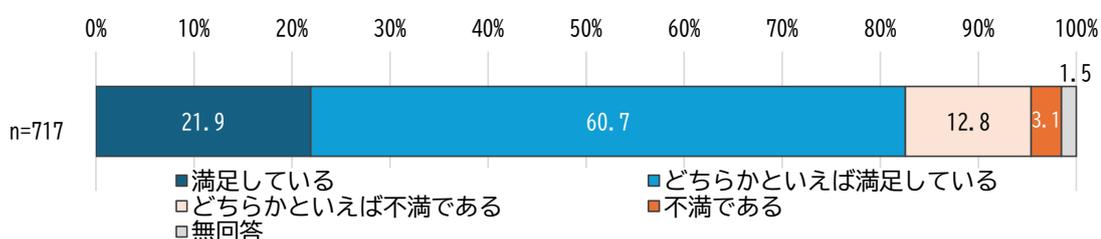
(1) 幸福度

現在の幸福度については、「8点」が22.7%で最も高く、次いで「5点」17.7%、「7点」17.6%と続いています。4点以下の合計は約1割となっています。



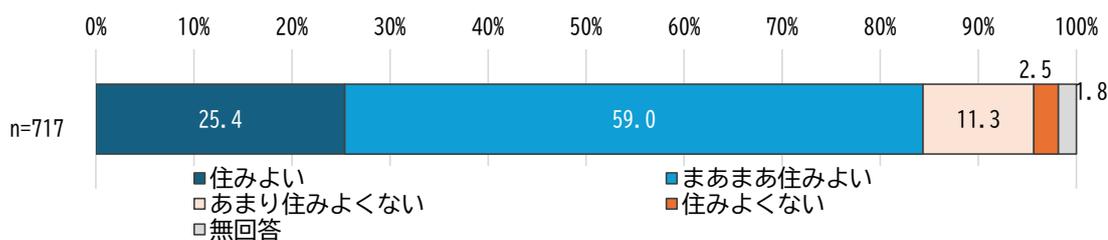
(2) 満足度

上里町での暮らしについての満足度をみると、「満足している」が21.9%、「どちらかといえば満足している」が60.7%で、合計すると82.6%が満足していると回答しています。



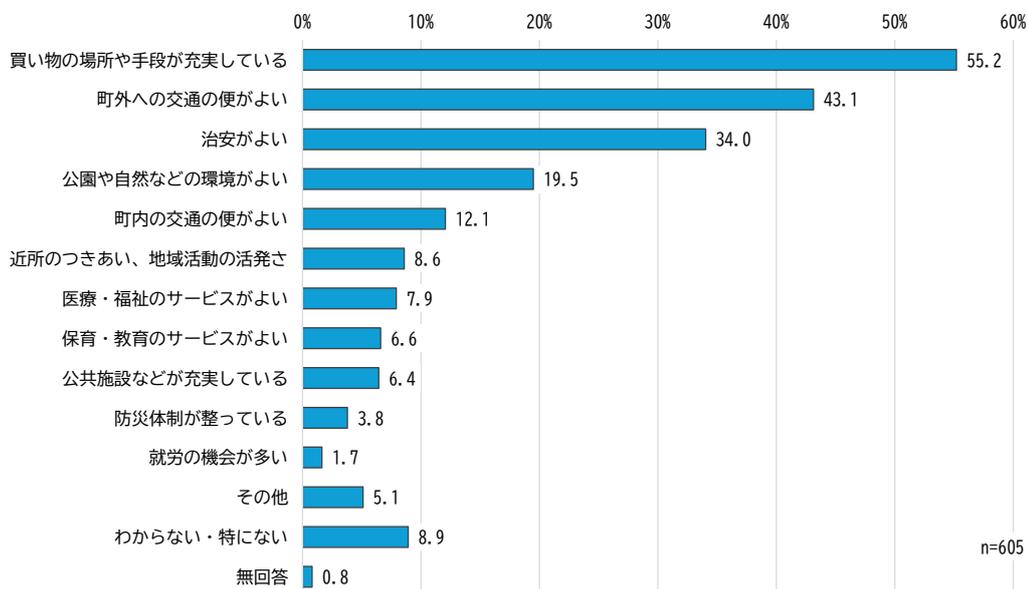
(3) 住みよさ

住みよさについてみると、「住みよい」が25.4%、「まあまあ住みよい」が59.0%で、合計すると84.4%が住みよいと回答しています。



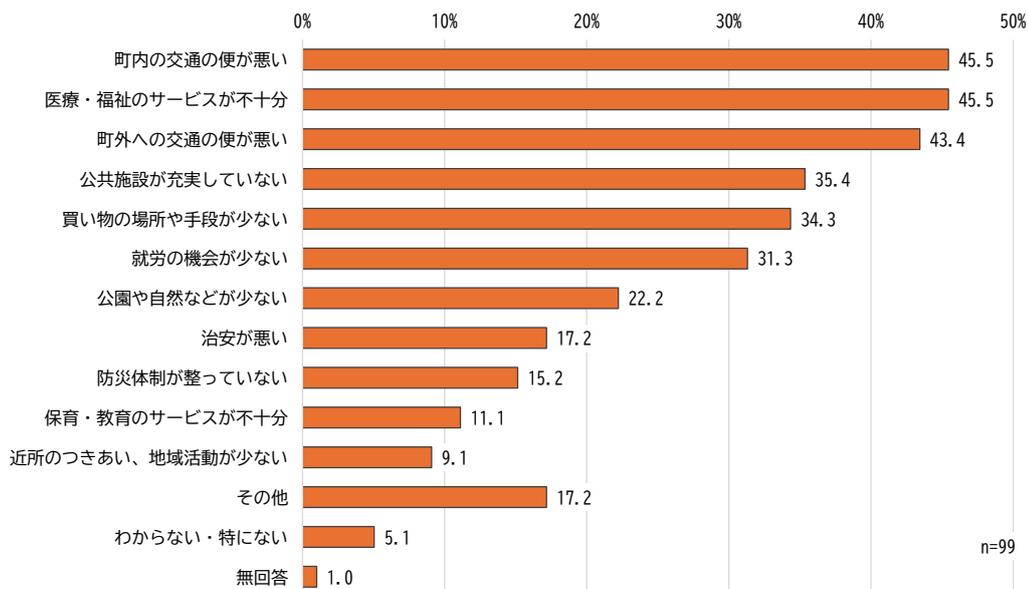
<住みやすい点>

住みやすいと感じる点について伺ってみると、「買い物の場所や手段が充実している」が55.2%と最も多く、次いで「町外への交通の便がよい」が43.1%、「治安がよい」が34.0%と続きます。



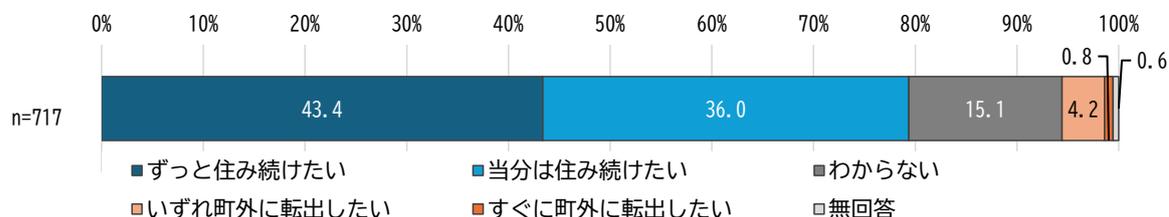
<住みよくない点>

「あまり住みよくない」と「住みよくない」と答えた方に住みよくないと感じる点について伺ってみると、「町内の交通の便が悪い」と「医療・福祉のサービスが不十分」がそれぞれ45.5%と最も多く、次いで「町外への交通の便が悪い」が43.4%となっています。



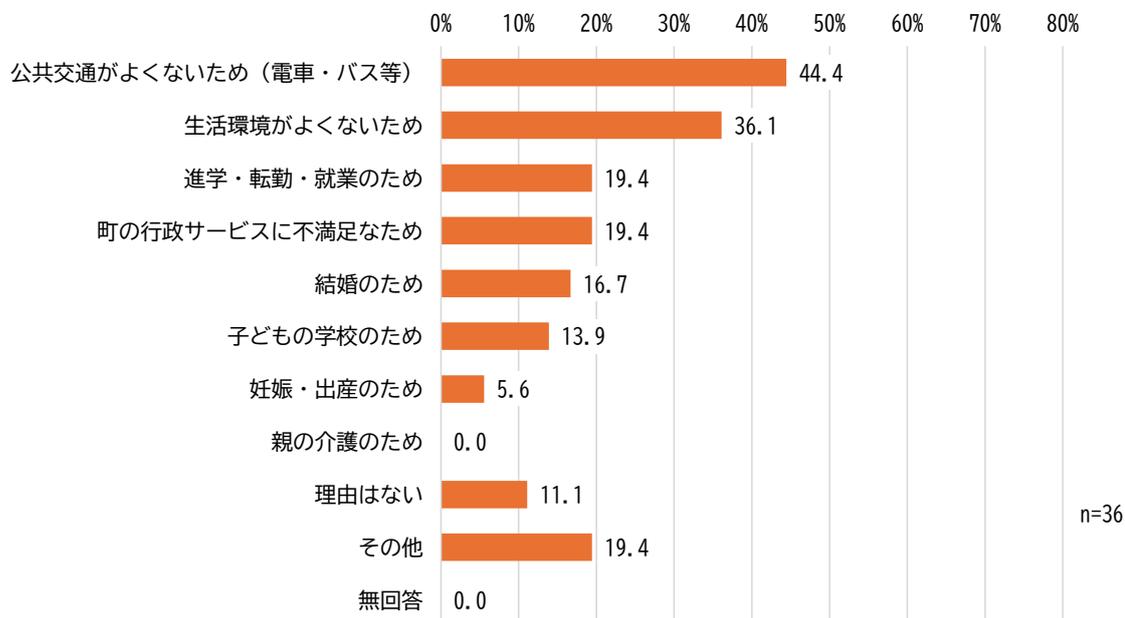
(4) 居住意向

上里町に今後も住み続けたいかについて伺ってみると、「ずっと住み続けたい」が43.4%、「当分は住み続けたい」が36.0%で、合計すると79.4%が住み続けたいと回答しています。



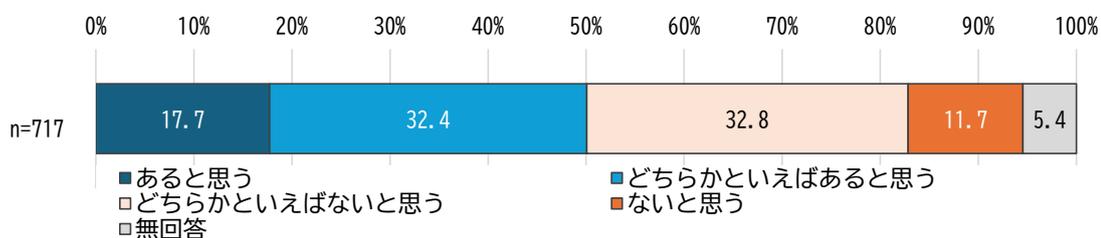
<転出したい理由>

「いずれ町外に転出したい」と「すぐに町外に転出したい」と答えた方に転出する理由について伺ってみると、「公共交通がよくないため」が44.4%と最も多く、次いで「生活環境がよくないため」が36.1%、「進学・転勤・就業のため」「町の行政サービスに不満足なため」がそれぞれ19.4%と続きます。



(5) 成長の機会

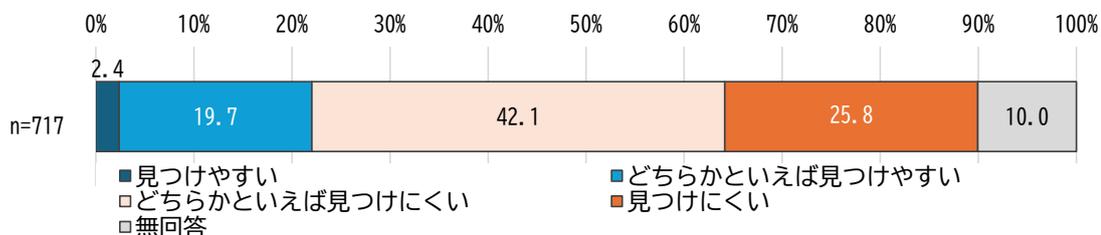
上里町では、新たな事に挑戦・成長するための機会があるかについてみると、「どちらかといえばないと思う」の割合が32.8%で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」(32.4%)、「あると思う」(17.7%)と続きます。



(6) 就職の難易度

上里町では、やりたい仕事を見つけやすいかについてみると、「どちらかといえば見つけにくい」の割合が42.1%で最も高く、次いで「見つけにくい」(25.8%)、「どちらかといえば見つけやすい」(19.7%)と続きます。

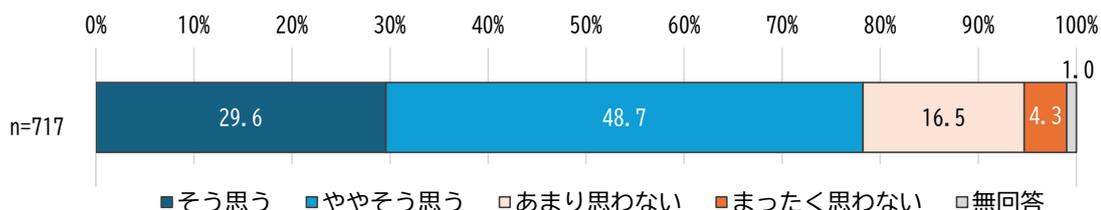
「見つけやすい」「どちらかといえば見つけやすい」の合計割合(22.1%)より、「どちらかといえば見つけにくい」「見つけにくい」の割合(67.9%)の方が45.8ポイント高くなっています。



5 健康について

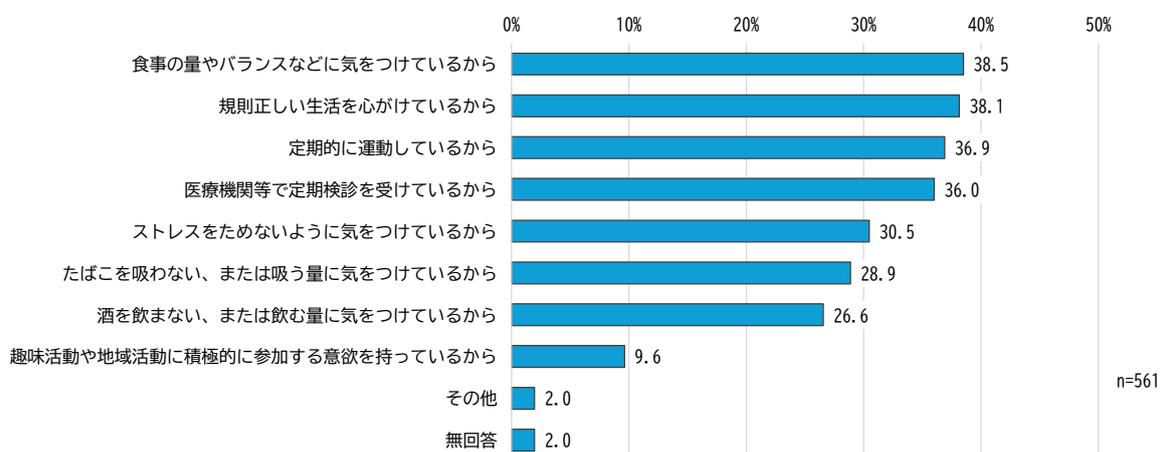
(1) 健康認識

自分自身を健康と思うかについては、「そう思う」が29.6%、「ややそう思う」が48.7%で、合計すると78.3%が健康であると感じています。



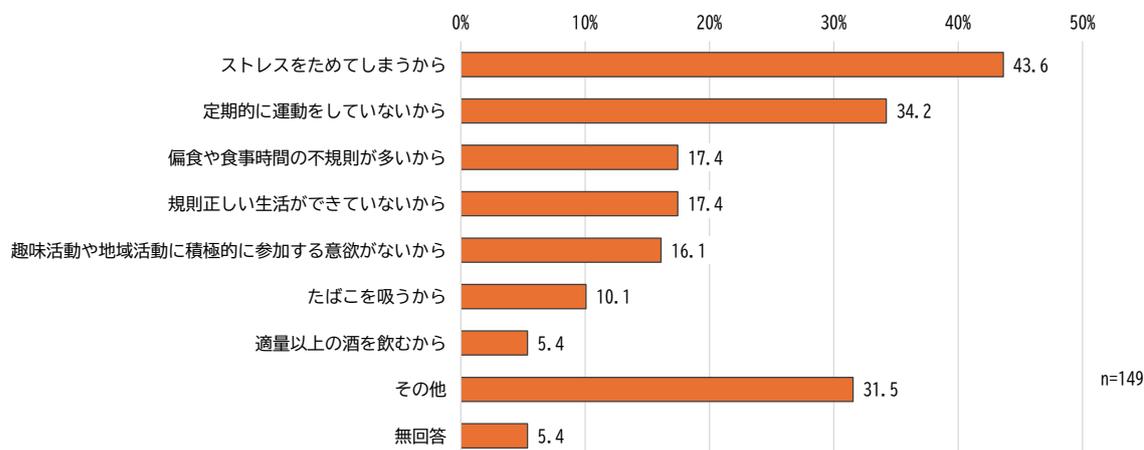
(2) 健康だと思う理由

「そう思う」と「ややそう思う」を選択した方に健康だと感じる理由について伺ってみると、「食事の量やバランスなどに気をつけているから」が38.5%と最も多く、次いで「規則正しい生活を心がけているから」が38.1%、「定期的に運動しているから」が36.9%と続きます。



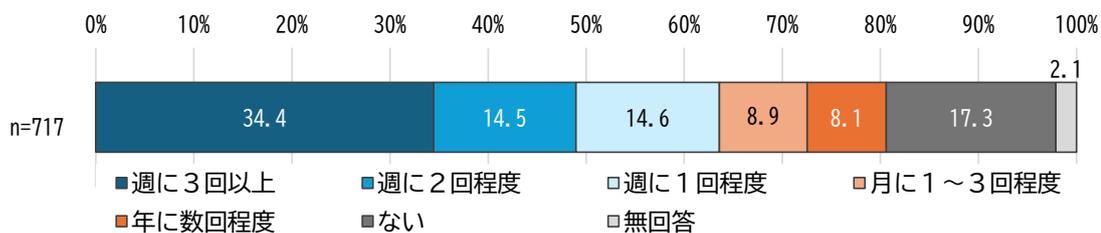
(3) 不健康だと思う理由

「あまり思わない」と「まったく思わない」を選択した方に健康だと感じない理由について伺ってみると、「ストレスをためてしまうから」が43.6%と最も多く、次いで「定期的に運動をしていないから」が34.2%、「偏食や食事時間の不規則が多いから」と「規則正しい生活ができていないから」がそれぞれ17.4%と続きます。



(4) 運動の回数

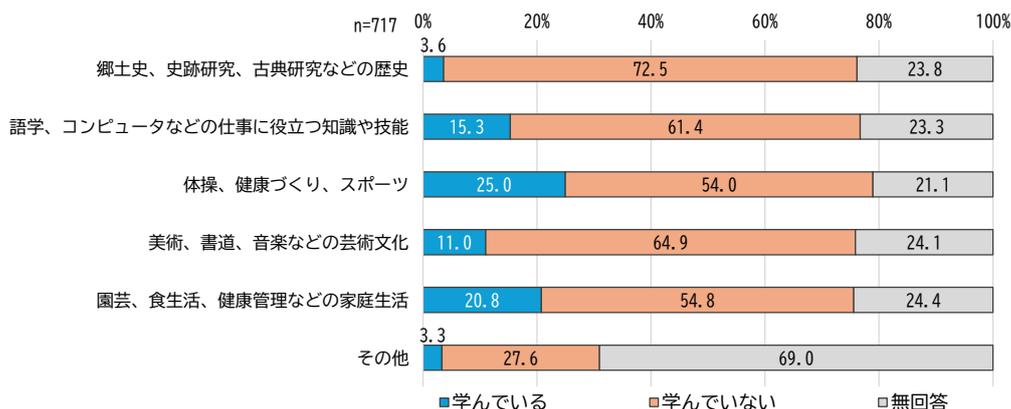
過去1年間のスポーツ活動の頻度についてみると、「週に3回以上」が34.4%と最も多く、「週に1回程度」は14.6%、「週に2回程度」が14.5%で、全体の63.5%が週1回以上は運動等の機会があるようです。



6 生涯学習について

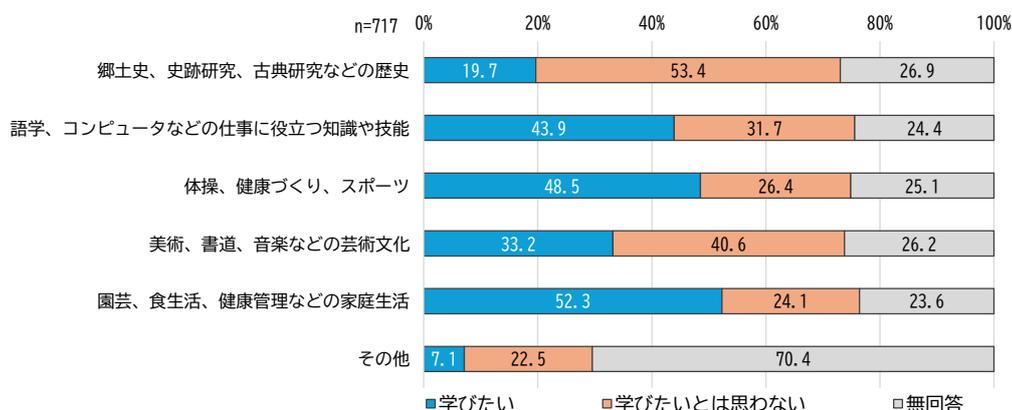
(1) 現在の状況

現在学んでいることについてみると、「体操、健康づくり、スポーツ」が25.0%と最も多く、次いで「園芸、食生活、健康管理などの家庭生活」が20.8%、「語学、コンピュータなどの仕事に役立つ知識や技能」が15.3%と続きます。



(2) 今後の希望

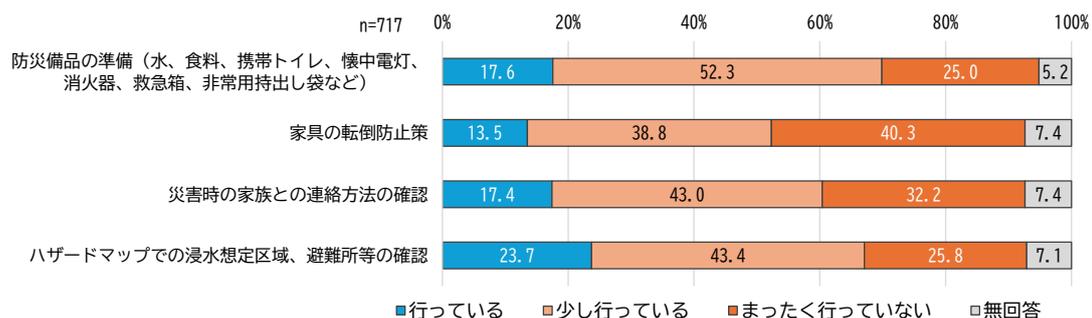
今後学びたいことについてみると、「園芸、食生活、健康管理などの家庭生活」が52.3%と最も多く、次いで「体操、健康づくり、スポーツ」が48.5%、「語学、コンピュータなどの仕事に役立つ知識や技能」が43.9%と続きます。



7 防災について

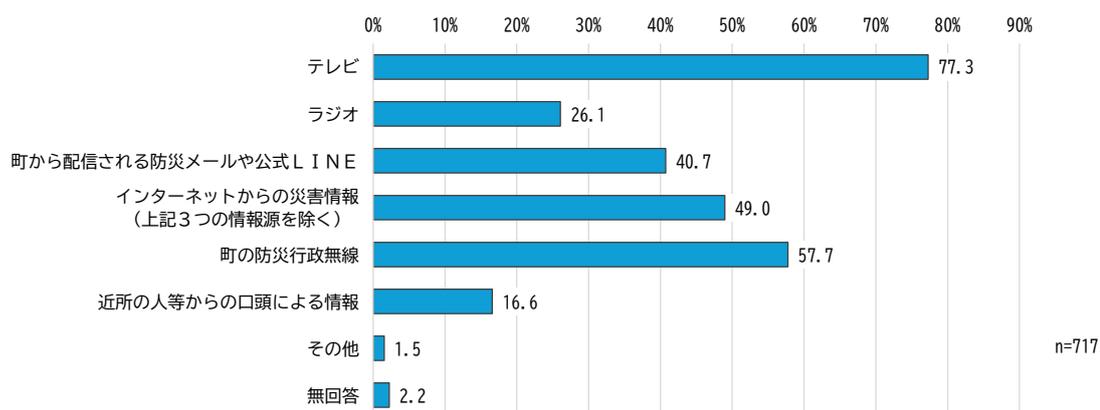
(1) 防災の実践

災害に備えて実践していることについて、「行っている」と「少し行っている」の合計をみると、「防災備品の準備」（それぞれ17.6%と52.3%）が69.9%と最も多く、次いで「ハザードマップでの浸水想定区域、避難所等の確認」（それぞれ23.7%と43.4%）が67.1%、「災害時の家族との連絡方法の確認」（それぞれ17.4%と43.0%）が60.4%、「家具の転倒防止策」が52.3%と続きます。



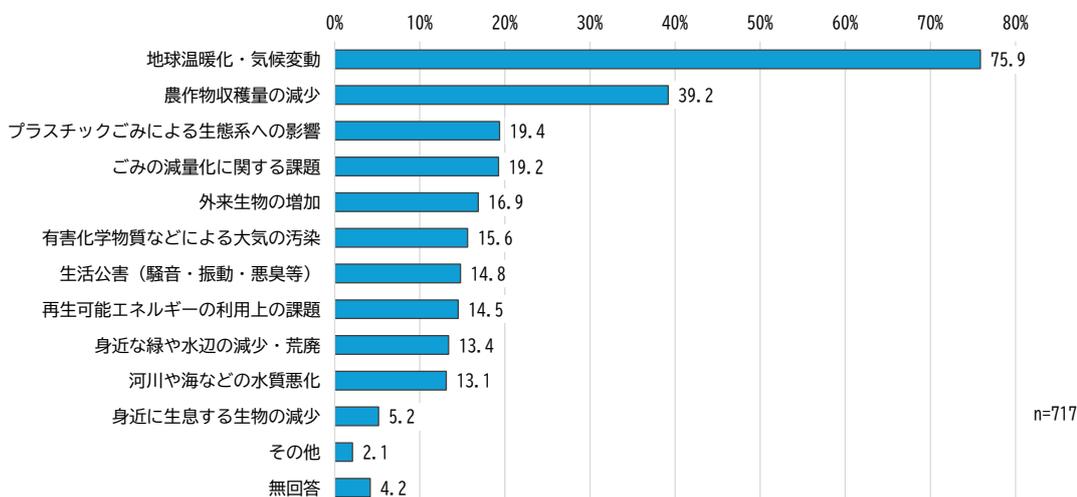
(2) 防災の情報源

災害時、避難の情報源についてみると、「テレビ」が77.3%と最も多く、次いで「町の防災行政無線」が57.7%、「インターネットからの災害情報」（上記3つの情報源を除く）が49.0%と続きます。



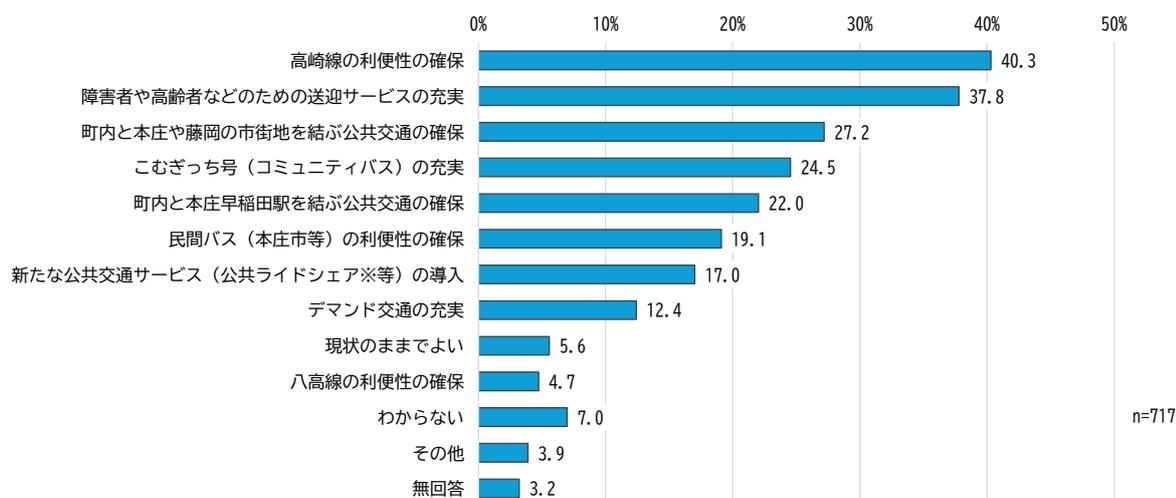
8 環境問題の関心テーマについて

関心のある環境問題についてみると、「地球温暖化・気候変動」が75.9%と最も多く、次いで「農作物収穫量の減少」が39.2%、「プラスチックごみによる生態系への影響」が19.4%と続きます。



9 公共交通対策について

充実してほしい交通手段についてみると、「高崎線の利便性の確保」が40.3%と最も高く、次いで「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」が37.8%、「町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保」が27.2%、「こむぎっち号（コミュニティバス）の充実」が24.5%と続きます。

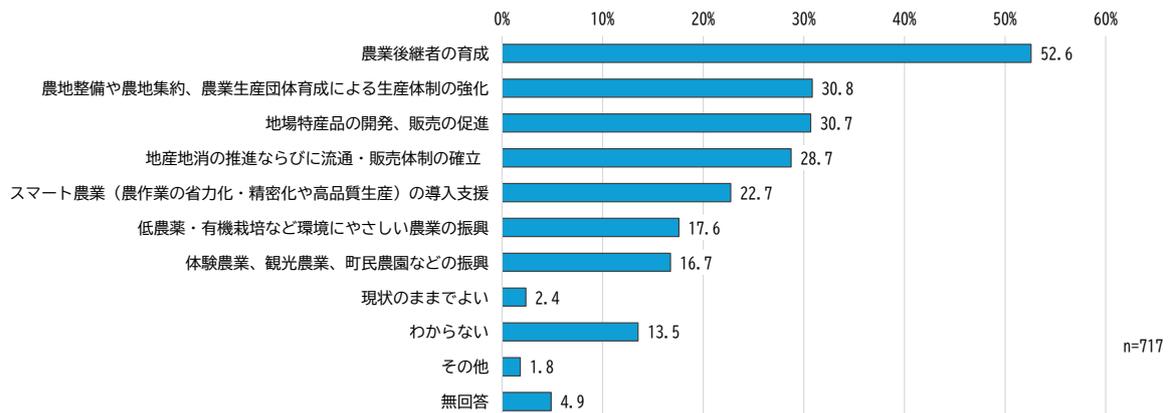


※公共ライドシェア：公共ライドシェアとは、自治体や非営利団体が主体となり、営利を目的とせず住民の移動手段を確保する制度。

10 産業振興策について

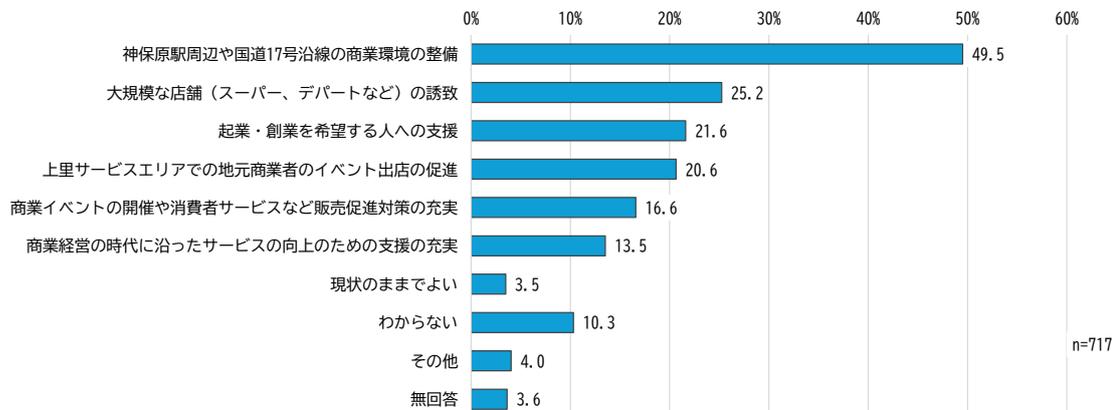
(1) 農業の振興策

農業振興のために強化すべき取組についてみると、「農業後継者の育成」が52.6%と最も多く、次いで「農地整備や農地集約、農業生産団体育成による生産体制の強化」が30.8%、「地場特産品の開発、販売の促進」が30.7%と続きます。



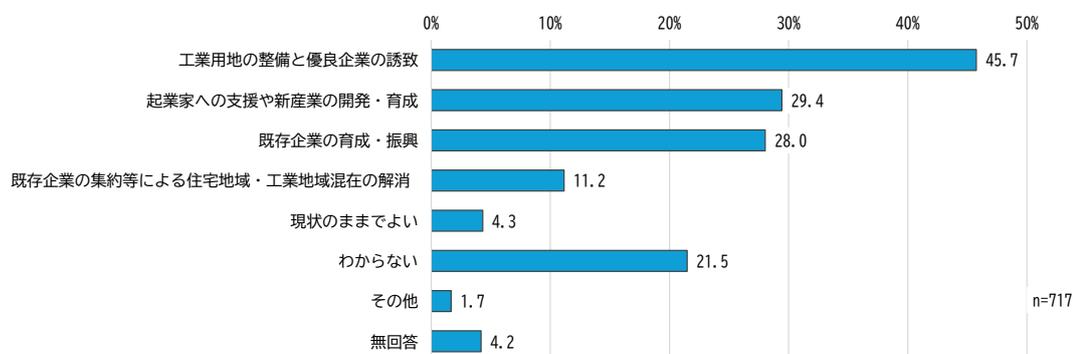
(2) 商業の振興策

商業振興のために強化すべき取組についてみると、「神保原駅周辺や国道17号沿線の商業環境の整備」が49.5%と最も多く、次いで「大規模な店舗（スーパー・デパートなど）の誘致」が25.2%、「起業・創業を希望する人への支援」が21.6%と続きます。



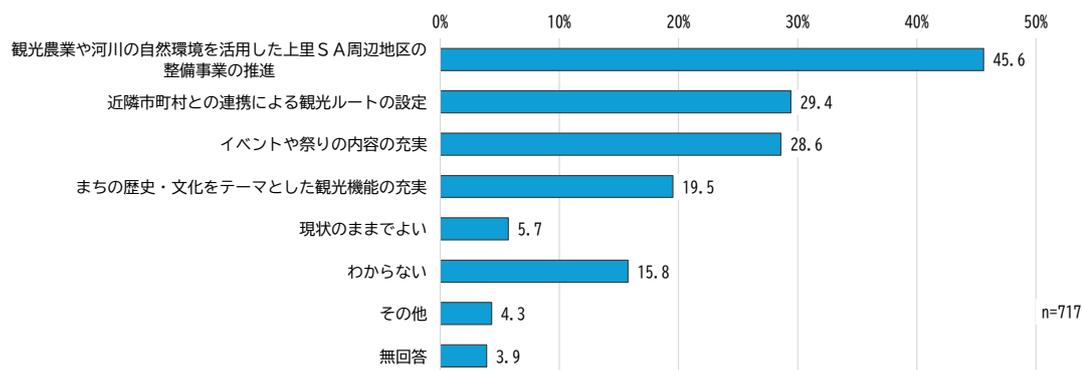
(3) 工業の振興策

工業振興のために強化すべき取組についてみると、「工業用地の整備と優良企業の誘致」が45.7%と最も多く、次いで「起業家への支援や新産業の開発・育成」が29.4%、「既存企業の育成・振興」が28.0%と続きます。



(4) 観光業の振興策

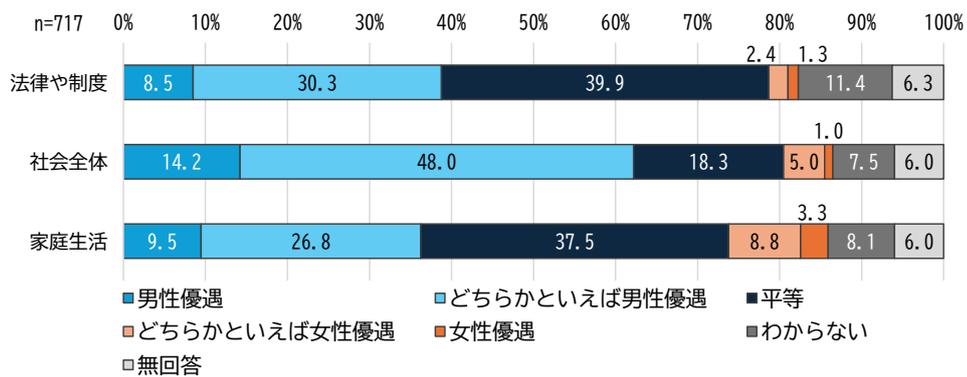
観光振興のために強化すべき取組についてみると、「観光農業や河川の自然環境を活用した上里S A周辺地区の整備事業の推進」が45.6%と最も多く、次いで「近隣市町村との連携による観光ルートの設定」が29.4%、「イベントや祭りの内容の充実」が28.6%と続きます。



11 男女共同参画の推進について

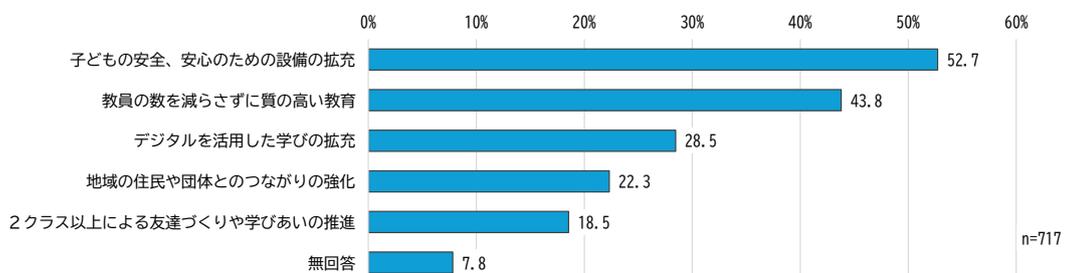
男女の地位が平等になっているかについてみると、「法律や制度」及び「家庭生活」において、「平等」と回答している割合（それぞれ39.9%と37.5%）が4割近く、「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」「どちらかといえば女性優遇」の合計（それぞれの小計38.8%と36.3%）も4割近くとなっています。

一方、「社会全体」においては、「男性優遇」（14.2%）「どちらかといえば男性優遇」（48.0%）の合計（62.2%）が6割を超えているのに対し、「平等」（18.3%）は2割未満となっています。



12 教育環境への取組について

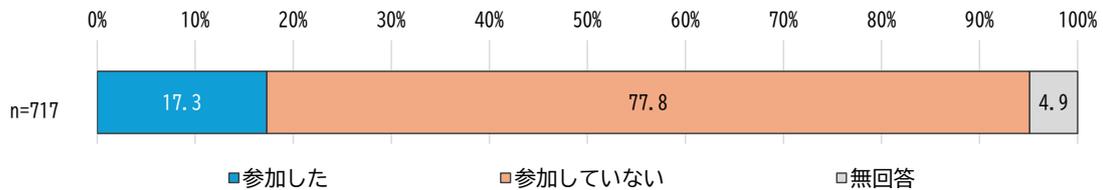
上里町の年少人口が減少する中で学校を取り巻く教育環境に何が必要かについてみると、「子どもの安全、安心のための設備の拡充」が52.7%と最も多く、次いで「教員の数を減らさずに質の高い教育」が43.8%、「デジタルを活用した学びの拡充」が28.5%と続きます。



13 地域との関わりなどについて

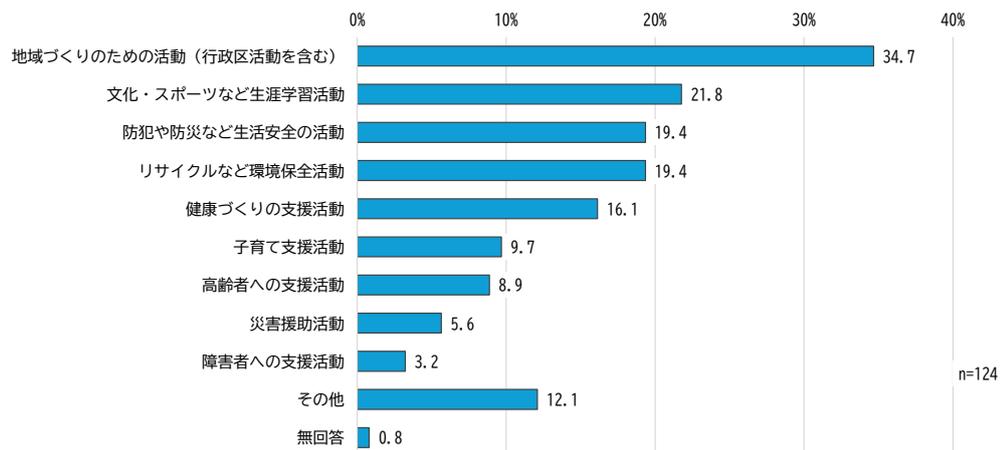
(1) ボランティア活動の参加有無

この1年間でボランティア活動の参加の有無についてみると、「参加した」が17.3%、「参加していない」が77.8%となっています。



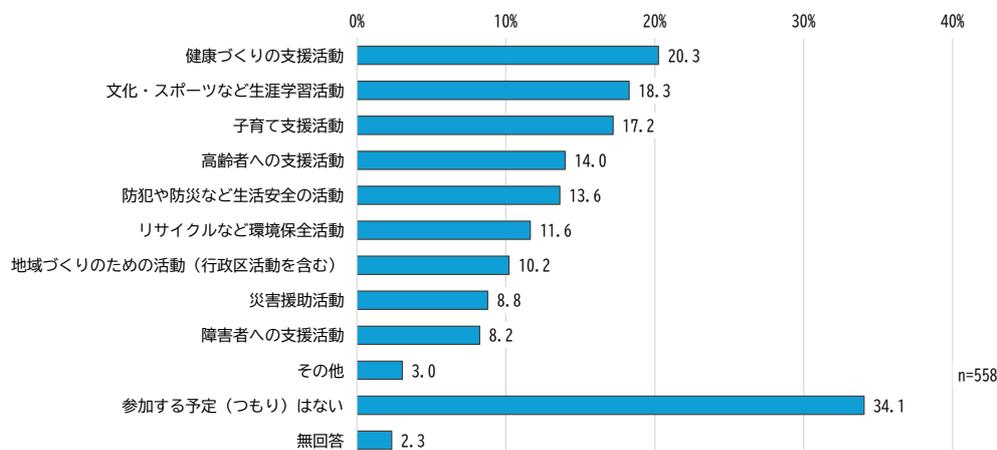
(2) 参加した分野

「参加した」と回答した方に参加したボランティアの分野について伺ってみると、「地域づくりのための活動（行政区活動を含む）」が34.7%と最も多く、次いで「文化・スポーツなど生涯学習活動」が21.8%、「防犯や防災など生活安全の活動」と「リサイクルなど環境保全活動」がそれぞれ19.4%となっています。



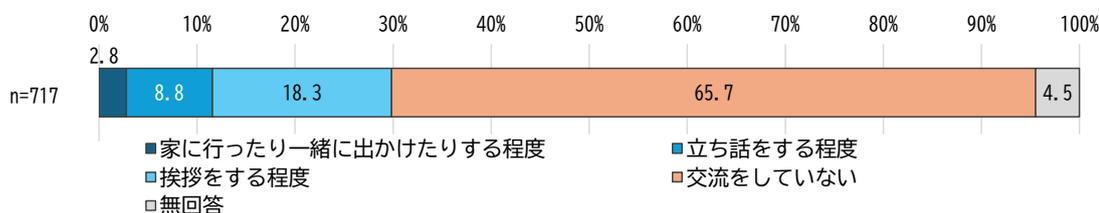
(3) 参加したい分野

「参加していない」と回答した方に参加するとしたら、参加したいボランティアの分野について伺ってみると、「健康づくりの支援活動」が20.3%と最も多く、次いで「文化・スポーツなど生涯学習活動」が18.3%、「子育て支援活動」が17.2%となっています。一方で、参加する予定（つもり）はないは34.1%となっています。



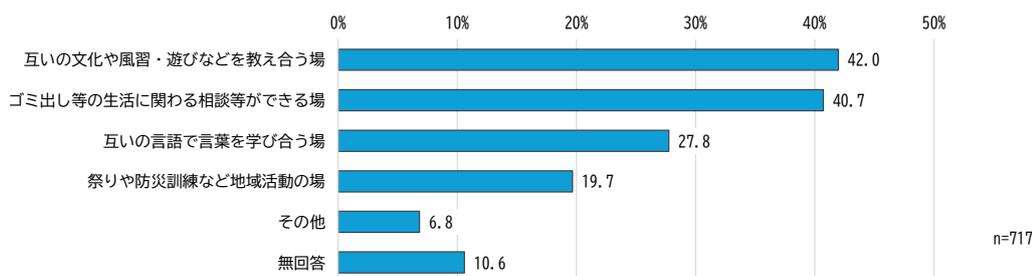
(4) 国際交流

外国籍の方との交流の有無についてみると、「交流をしていない」が65.7%と最も多く、次いで「挨拶をする程度」が18.3%、「立ち話をする程度」が8.8%となっています。



(5) 交流の場

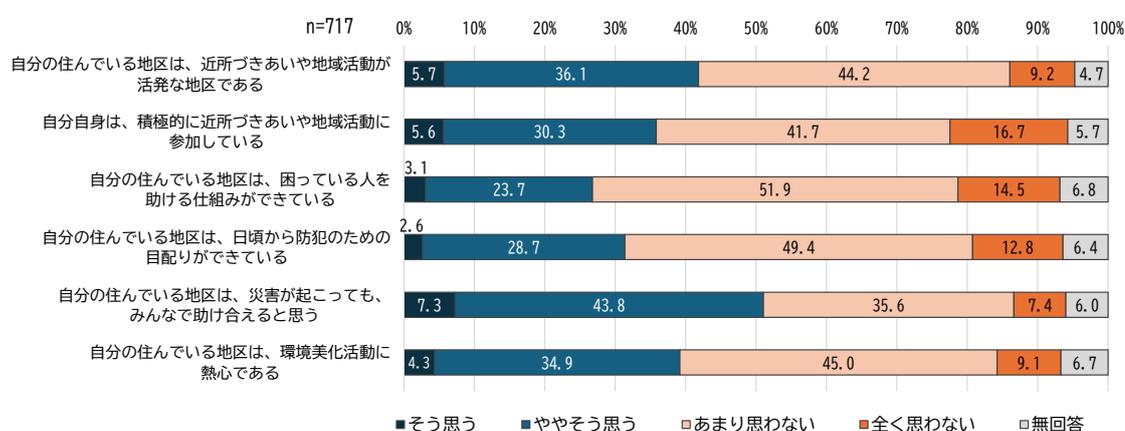
外国籍の方と共に暮らしやすい地域にするために、交流に必要な場について伺ってみると、「互いの文化や風習・遊びなどを教え合う場」が42.0%と最も多く、次いで「ゴミ出し等の生活に関わる相談等ができる場」が40.7%、「互いの言語で言葉を学び合う場」が27.8%と続きます。



(6) 地域との関わり方

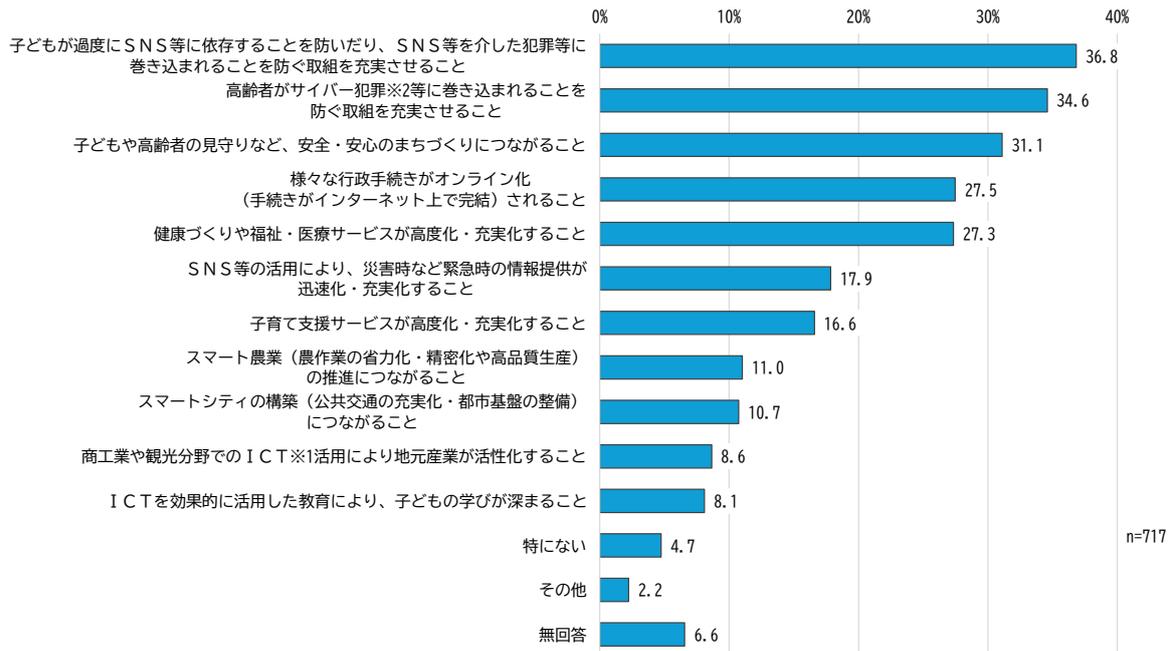
地域との関わり方についてみると、下記グラフの6つの項目において、「そう思う」「ややそう思う」の合計をみると、「自分の住んでいる地区は、災害が起こっても、みんなで助け合えると思う」の割合が51.1%と最も高く、「あまり思わない」「全く思わない」の合計割合（43.0%）を上回っているのに対し、残りの5項目においては、「そう思う」「ややそう思う」の合計割合はいずれも「あまり思わない」「全く思わない」を下回っています。

「あまり思わない」「全く思わない」の合計をみると、最も高い割合を占めているのが「自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができている」（66.4%）となっており、次いで「自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができている」（62.2%）、「自分自身は、積極的に近所づきあいや地域活動に参加している」（58.4%）と続きます。



14 デジタル化について

地域社会のデジタル化が進むなか、町が特に注力すべきと思う取組は何かについて、「子どもが過度にSNS等に依存することを防いだり、SNS等を介した犯罪等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」が36.8%と最も多く、次いで「高齢者がサイバー犯罪※2等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」が34.6%、「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のまちづくりにつながること」が31.1%となっています。



※1：ICTとは、Information and Communication Technology の略で、情報通信技術という意味。情報通信技術は、スマートフォンやパソコンなどの端末を用いながら、インターネット回線等を經由してデジタル化された情報のやりとりを行う技術のことを指す。

※2：サイバー犯罪とは、コンピュータやインターネットを悪用した犯罪のこと。

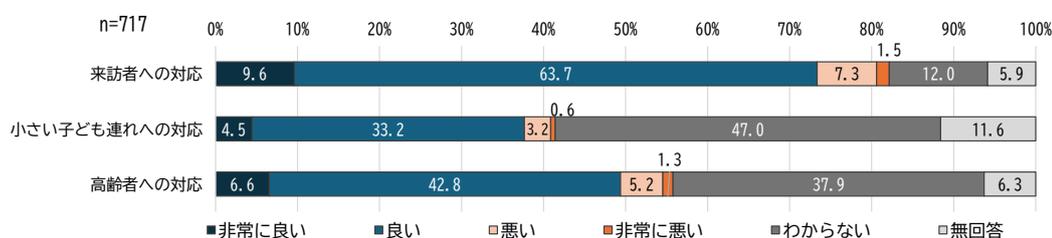
15 行政運営について

(1) 行政運営に対する評価

行政運営については、「非常に良い」「良い」の合計で見ると、「来訪者への対応」（それぞれ9.6%と63.7%）が73.3%と最も高く、次いで「高齢者への対応」（それぞれ6.6%と42.8%）が49.4%、「小さい子ども連れへの対応」（それぞれ4.5%と33.2%）が37.7%と続きます。

このうち、「小さい子ども連れへの対応」のように、「わからない」と回答した割合が47.0%、「高齢者への対応」についても、「わからない」と回答した割合（37.9%）が4割近くになっています。

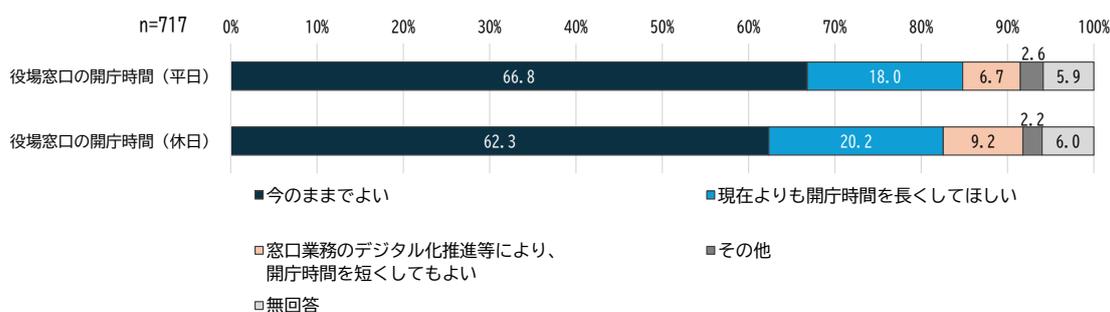
「悪い」「非常に悪い」の合計はいずれの項目においても1割未満となっています。



(2) 役場窓口の開庁時間

役場窓口の開庁時間について、平日も休日も「今のままでよい」がそれぞれ66.8%と62.3%で、「現在よりも開庁時間を長くしてほしい」がそれぞれ18.0%と20.2%となっています。

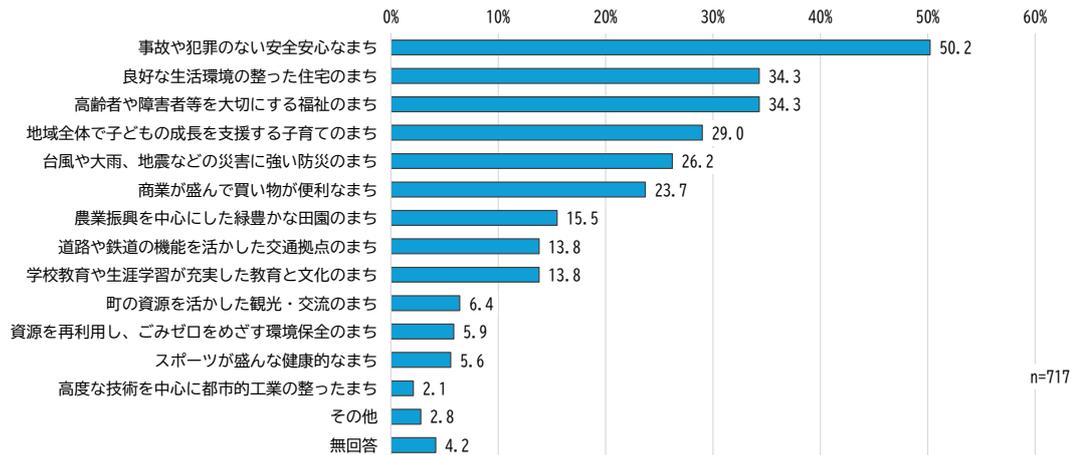
一方、「窓口業務のデジタル化推進等により、開庁時間を短くしてもよい」（それぞれ6.7%と9.2%）は1割未満となっています。



16 まちづくりの方向について

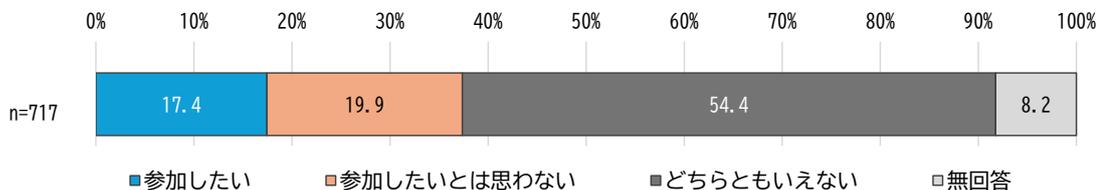
(1) 今後の方向性

今後上里町が目指すべき方向性については、「事故や犯罪のない安全安心なまち」が50.2%と最も多く、次いで「良好な生活環境の整った住宅のまち」、「高齢者や障害者等を大切にする福祉のまち」がそれぞれ34.3%と続きます。



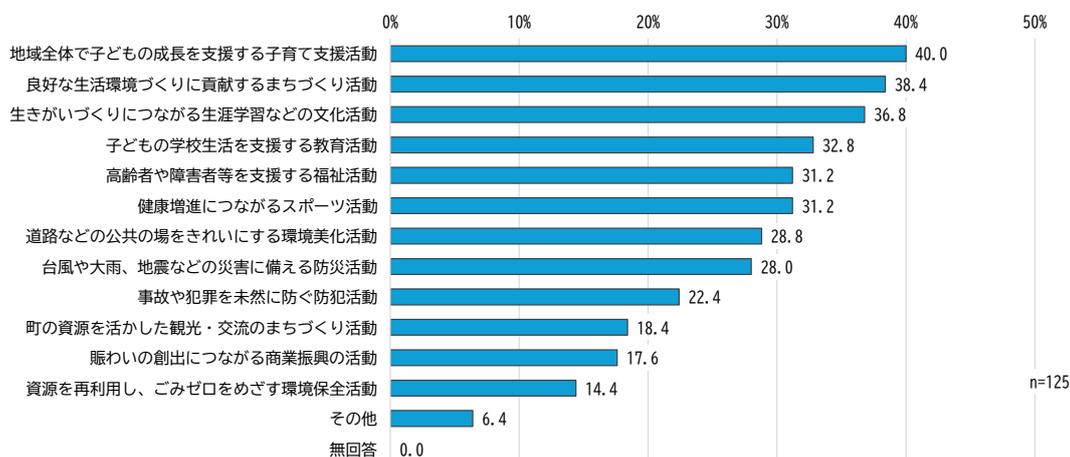
(2) まちづくり活動への参加意向

まちづくりの活動への参加意向についてみると、「どちらともいえない」が54.4%と最も多く、次いで「参加したいとは思わない」(19.9%)と「参加したい」(17.4%)がそれぞれ2割近くとなっています。



(3) 参加したい分野

「参加したい」と回答した方に参加したいまちづくりの分野について伺ってみると、「地域全体で子どもの成長を支援する子育て支援活動」が40.0%と最も多く、次いで「良好な生活環境づくりに貢献するまちづくり活動」が38.4%、「生きがいづくりにつながる生涯学習などの文化活動」が36.8%と続きます。



17 各分野の満足度・重要度について

(1) 各分野の満足度

■保健・医療・福祉

「満足している」「やや満足している」の合計割合をみると、最も高いのは「保健・医療の充実」(37.1%)、次いで「子ども・子育て支援の充実」(23.2%)、「やや不満である」「不満である」の合計割合(それぞれ18.7%と8.6%)よりそれぞれ18.4ポイントと14.6ポイント高くなっています。

■生活環境

「満足している」「やや満足している」の合計割合をみると、「快適な住環境の確保」が37.2%と最も高く、次いで「消防・防災の強化」が29.8%となっており、「やや不満である」「不満である」の合計割合(それぞれ11.9%と7.1%)よりそれぞれ25.3ポイントと22.7ポイント高くなっています。

■産業振興

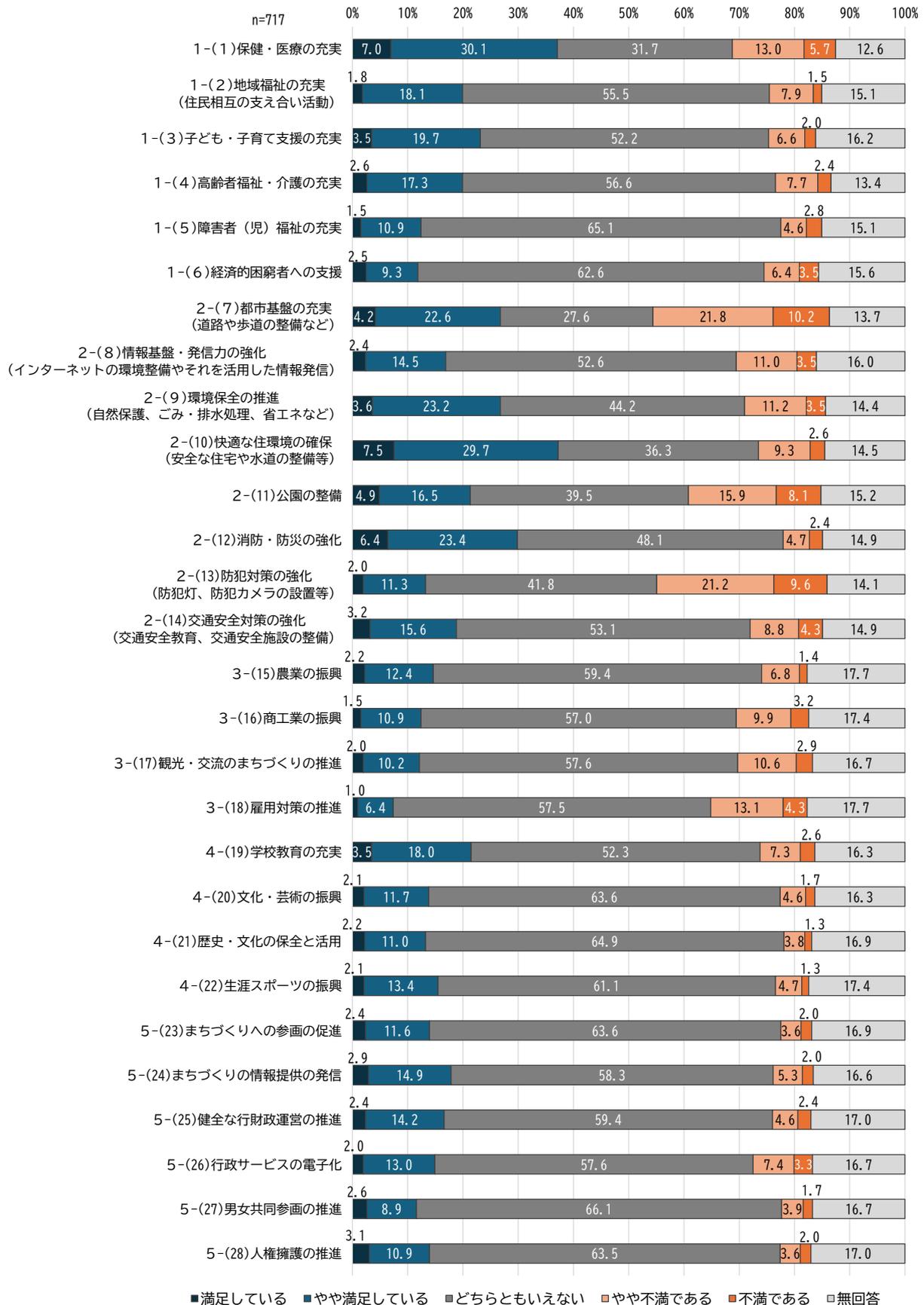
「満足している」「やや満足している」の合計割合では、「農業の振興」が14.6%と最も高くなっています。「やや不満である」「不満である」の合計割合では、「雇用対策の推進」が17.4%と最も高くなっており、「満足している」「やや満足している」の合計割合（7.4%）よりも10.0ポイント高くなっています。

■教育・文化

「満足している」「やや満足している」の合計割合をみると、「学校教育の充実」が21.5%と最も高く、次いで「生涯スポーツの振興」が15.5%となっており、「やや不満である」「不満である」の合計割合（それぞれ9.9%と6.0%）よりそれぞれ11.6ポイントと9.5ポイント高くなっています。

■まちづくり・行財政

「満足している」「やや満足している」の合計割合をみると、「まちづくりの情報提供の発信」が17.8%と最も高く、次いで「健全な行財政運営の推進」が16.6%となっており、「やや不満である」「不満である」の合計割合（それぞれ7.3%と7.0%）よりそれぞれ10.5ポイントと9.6ポイント高くなっています。



上里町の現状のまちづくりに対する満足度について、「満足」「やや満足」の合計割合が最も高いのは「2-(10)快適な住環境の確保」で37.2%、次いで「1-(1)保健・医療の充実」が37.1%、「2-(12)消防・防災の強化」が29.8%となっている一方、「不満」「やや不満」の合計割合が最も高いのは「2-(7)都市基盤の充実」で32.0%、次いで「2-(13)防犯対策の強化」が30.8%、「2-(11)公園の整備」が24.0%となっています。

【満足度が高い項目】

順位	満足度が高い施策項目	満足度の集計結果 (%)		
		満足 (A)	やや満足 (B)	満足の合計 (A) + (B)
1	2-(10)快適な住環境の確保	7.5	29.7	37.2
2	1-(1)保健・医療の充実	7.0	30.1	37.1
3	2-(12)消防・防災の強化	6.4	23.4	29.8
4	2-(7)都市基盤の充実	4.2	22.6	26.8
5	2-(9)環境保全の推進	3.6	23.2	26.8
6	1-(3)子ども・子育て支援の充実	3.5	19.7	23.2
7	4-(19)学校教育の充実	3.5	18.0	21.5
8	2-(11)公園の整備	4.9	16.5	21.4
9	1-(4)高齢者福祉・介護の充実	2.6	17.3	19.9
10	1-(2)地域福祉の充実	1.8	18.1	19.9

【満足度が低い項目】

順位	満足度が低い施策項目	満足度の集計結果 (%)		
		やや不満 (A)	不満 (B)	不満の合計 (A) + (B)
1	2-(7)都市基盤の充実	21.8	10.2	32.0
2	2-(13)防犯対策の強化	21.2	9.6	30.8
3	2-(11)公園の整備	15.9	8.1	24.0
4	1-(1)保健・医療の充実	13.0	5.7	18.7
5	3-(18)雇用対策の推進	13.1	4.3	17.4
6	2-(9)環境保全の推進	11.2	3.5	14.7
7	2-(8)情報基盤・発信力の強化	11.0	3.5	14.5
8	3-(17)観光・交流のまちづくりの推進	10.6	2.9	13.5
9	2-(14)交通安全対策の強化	31.0	9.3	40.3
10	3-(16)商工業の振興	29.0	8.7	37.7

(2) 各分野の重要度

■保健・医療・福祉

「重要である」「やや重要である」の合計割合をみると、すべての項目において5割を超えており、そのなかで「保健・医療の充実」が75.9%と最も高く、次いで「高齢者福祉・介護の充実」(68.9%)、「子ども・子育て支援の充実」(66.9%)と続きます。

■生活環境

「重要である」「やや重要である」の合計割合をみると、すべての項目において5割を超えており、そのなかで「防犯対策の強化(防犯灯、防犯カメラの設置等)」が74.2%と最も高く、次いで「都市基盤の充実(道路や歩道の整備など)」(73.1%)、「快適な住環境の確保(安全な住宅や水道の整備等)」(70.3%)となっています。

■産業振興

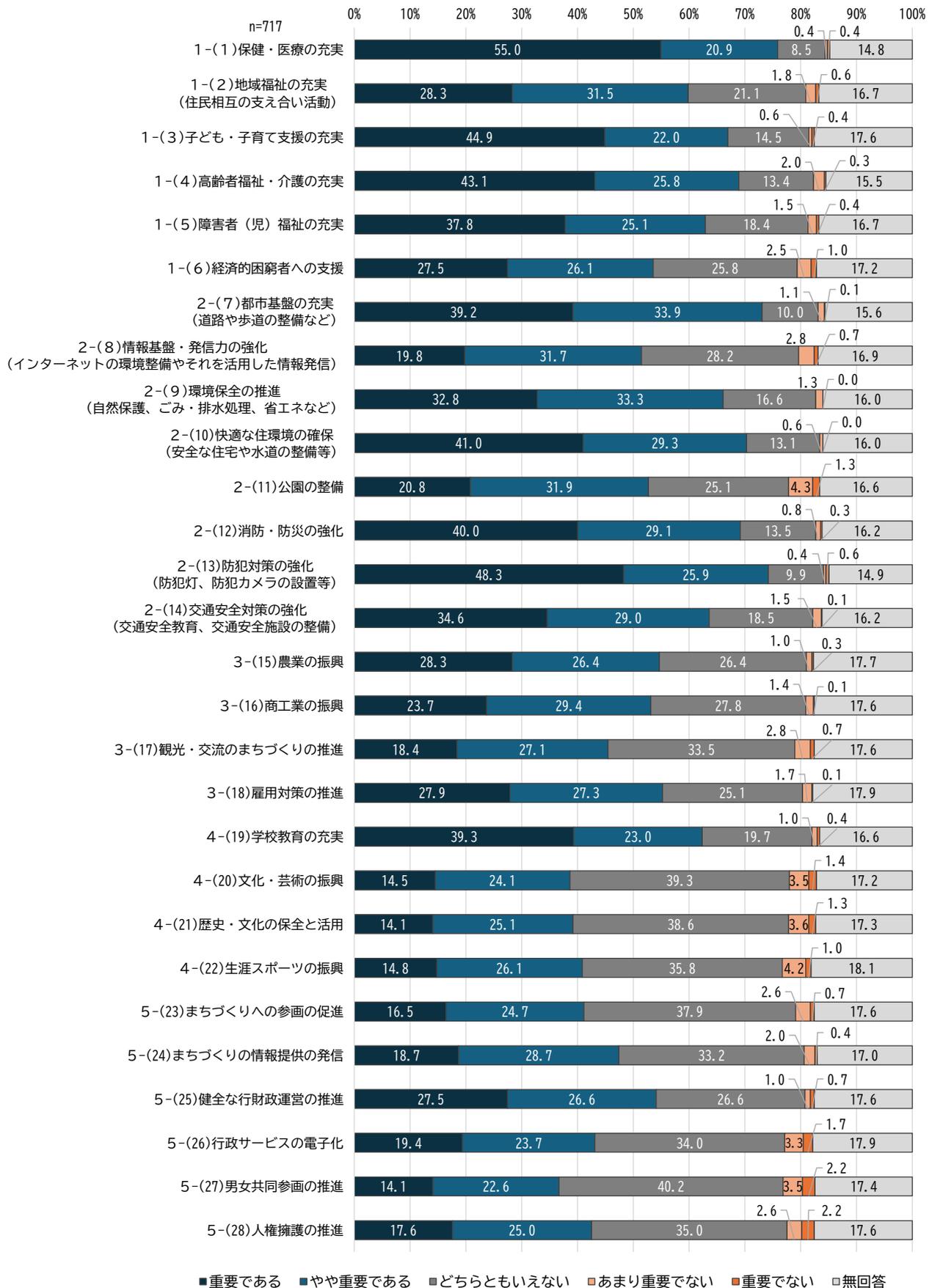
「重要である」「やや重要である」の合計割合では、すべての項目において4割を超えており、そのなかで「雇用対策の推進」が55.2%と最も高く、次いで「農業の振興」(54.7%)と「商工業の振興」(53.1%)が続きます。

■教育・文化

「重要である」「やや重要である」の合計割合をみると、すべての項目において3割を超えており、そのなかで「学校教育の充実」が62.3%と最も高く、次いで「生涯スポーツの振興」(40.9%)と「歴史・文化の保全と活用」(39.2%)が続きます。

■まちづくり・行財政

「重要である」「やや重要である」の合計割合をみると、すべての項目において3割を超えており、そのなかで「健全な行財政運営の推進」が54.1%と最も高く、次いで「まちづくりの情報提供の発信」が47.4%、「行政サービスの電子化」が43.1%となっています。



今後のまちづくりに対する重要度について、「重要」「やや重要」の合計割合が最も高いのは「1-(1)保健・医療の充実」で75.9%、次いで「2-(13)防犯対策の強化」が74.2%、「2-(7)都市基盤の充実」が73.1%となっている一方、「重要ではない」「あまり重要ではない」の合計割合が最も高いのは「5-(27)男女共同参画の推進」で5.7%、次いで「2-(11)公園の整備」が5.6%、「4-(22)生涯スポーツの振興」が5.2%となっています。

【重要度が高い項目】

順位	施策項目	重要度の集計結果 (%)		
		重要 (A)	やや重要 (B)	重要の合計 (A) + (B)
1	1-(1)保健・医療の充実	55.0	20.9	75.9
2	2-(13)防犯対策の強化	48.3	25.9	74.2
3	2-(7)都市基盤の充実	39.2	33.9	73.1
4	2-(10)快適な住環境の確保	41.0	29.3	70.3
5	2-(12)消防・防災の強化	40.0	29.1	69.1
6	1-(4)高齢者福祉・介護の充実	43.1	25.8	68.9
7	1-(3)子ども・子育て支援の充実	44.9	22.0	66.9
8	2-(9)環境保全の推進	32.8	33.3	66.1
9	2-(14)交通安全対策の強化	34.6	29.0	63.6
10	1-(5)障害者(児)福祉の充実	37.8	25.1	62.9

【重要度が低い項目】

順位	施策項目	重要度の集計結果 (%)		
		あまり重要ではない (A)	重要ではない (B)	重要ではないの合計 (A) + (B)
1	5-(27)男女共同参画の推進	3.5	2.2	5.7
2	2-(11)公園の整備	4.3	1.3	5.6
3	4-(22)生涯スポーツの振興	4.2	1.0	5.2
4	5-(26)行政サービスの電子化	3.3	1.7	5.0
5	4-(20)文化・芸術の振興	3.5	1.4	4.9
6	4-(21)歴史・文化の保全と活用	3.6	1.3	4.9
7	5-(28)人権擁護の推進	2.6	2.2	4.8
8	2-(8)情報基盤・発信力の強化	2.8	0.7	3.5
9	3-(17)観光・交流のまちづくりの推進	2.8	0.7	3.5
10	1-(6)経済的困窮者への支援	2.5	1.0	3.5

IV 調査結果（分析編／クロス集計の結果）

1 クロス集計

ここでは、年代や性別など基本属性と主要な設問についてクロス集計を行いました。

主要な設問については、年代別、性別、居住地区別での結果を示していますが、設問によっては、その内容を踏まえ、年代別のみ、性別のみ、居住地区別のみ、となっています。また、年代別の分析においては、「20歳未満」と「90歳以上」の回答者数が少ないため、参考までにグラフに提示しますが、本文では言及していません。

(1) 現在の暮らしについて

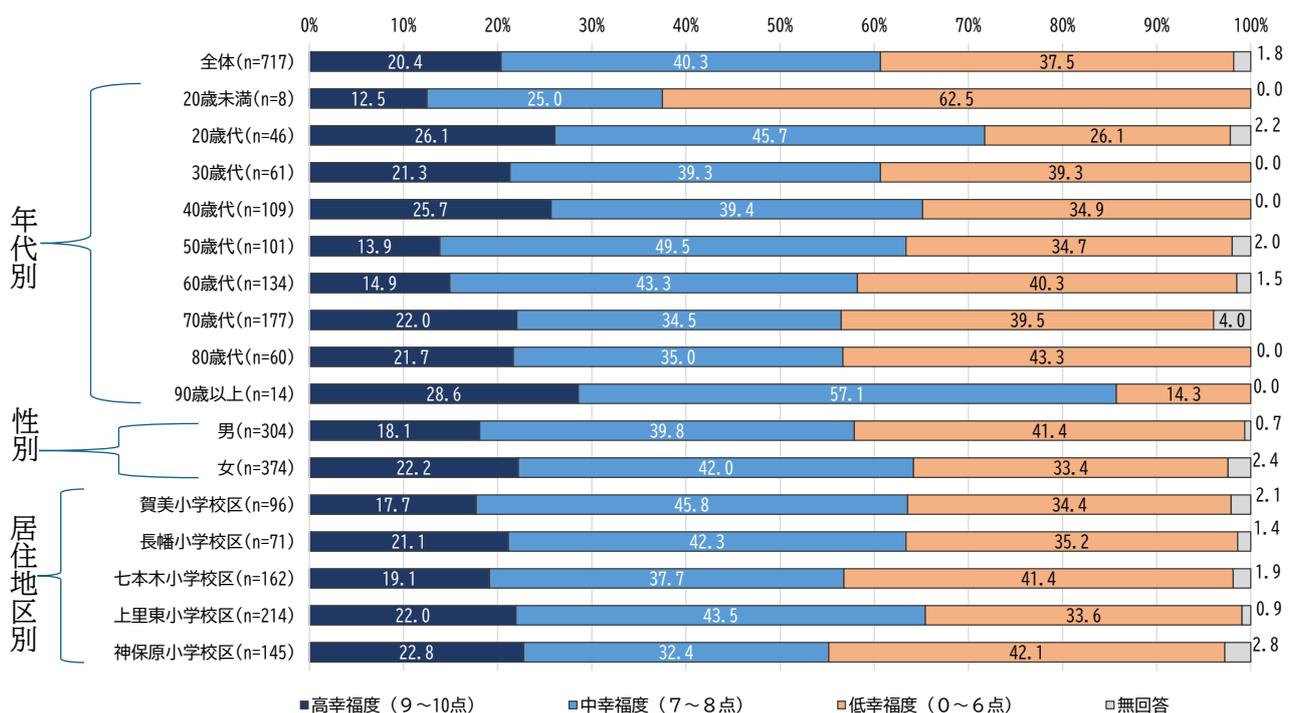
(ア) 幸福度（年代別・性別・居住地区別）

現在どの程度幸福かについて全体で見ると、「中幸福度」（7点～8点）が40.3%で最も多く、次いで「低幸福度」（0点～6点）が37.5%、「高幸福度」（9点～10点）が20.4%となっています。

年代別をみると、20歳代は「高幸福度」において26.1%で最も高く、「低幸福度」において26.1%で最も低く、20歳代の幸福度が他の年代よりやや高い傾向が見られます。

男女別をみると、「低幸福度」において、男性（41.4%）のほうが女性（33.4%）より若干（8.0ポイント）高くなっています。

居住地区別をみると、「中幸福度」において神保原小学校区は32.4%、賀美小学校区より13.4ポイント低くなっているのに対し、「低幸福度」において神保原小学校区は42.1%、賀美小学校区より7.7ポイント高くなっており、神保原小学校区においてやや幸福度が低い傾向が見られます。



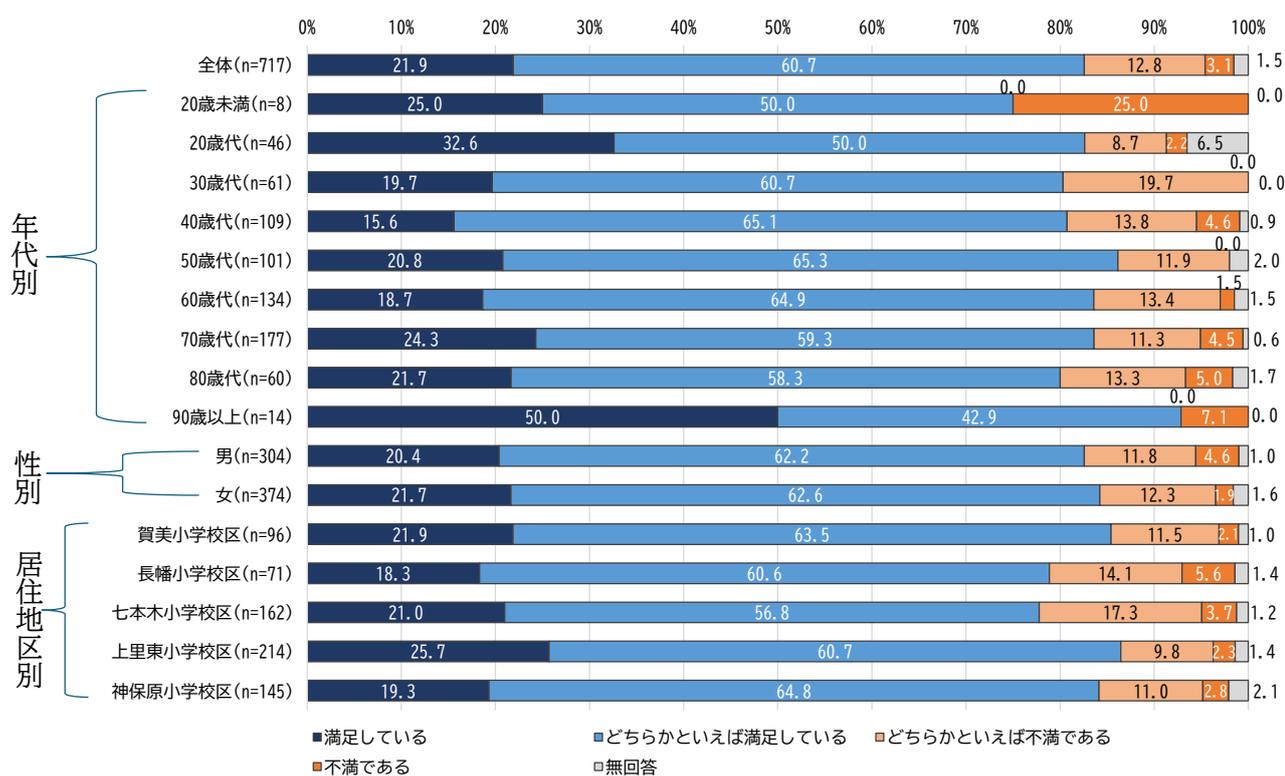
(イ) 満足度（年代別・性別・居住地区別）

現在の上里町での暮らしについて満足しているかについて全体で見ると、「満足している」（21.9%）と「どちらかといえば満足している」（60.7%）の合計が82.6%で、8割以上が満足していると回答しています。

年代別をみても大きな差はないものの、「不満である」「どちらかといえば不満である」の合計からみると、30歳代（19.7%）は割合が20歳代との間に8.8ポイント差があり、30歳代においてやや満足度が低い傾向が見られます。

男女別ではほぼ差がありません。

居住地区別をみてもどの地区においても大きな差はないものの、七本木小学校区（77.8%）と上里東小学校区（86.4%）の間に8.7ポイントの差があり、七本木小学校区においてやや満足度が低い傾向が見られます。

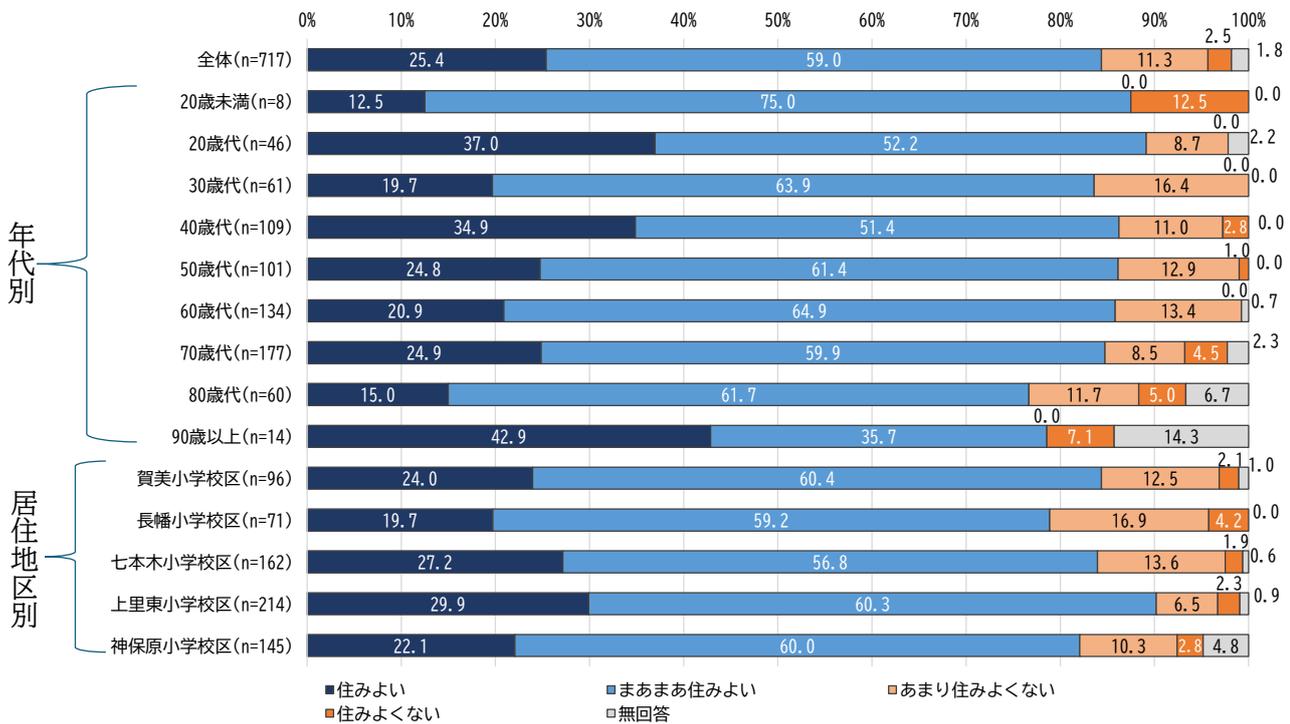


(ウ) 住みよさ（年代別・居住地区別）

住みよさについて全体で見ると、「住みよい」（25.4%）と「まあまあ住みよい」（59.0%）の合計が84.4%で、8割以上が住みよいと回答しています。

年代別をみると、20歳代（89.1%）が最も高く、80歳代との間に12.5ポイント差があります。

居住地区別をみると、上里東小学校区（90.2%）と長幡小学校区（78.9%）の間に11.3ポイントの差があり、長幡小学校区において住みよさが低い傾向が見られます。

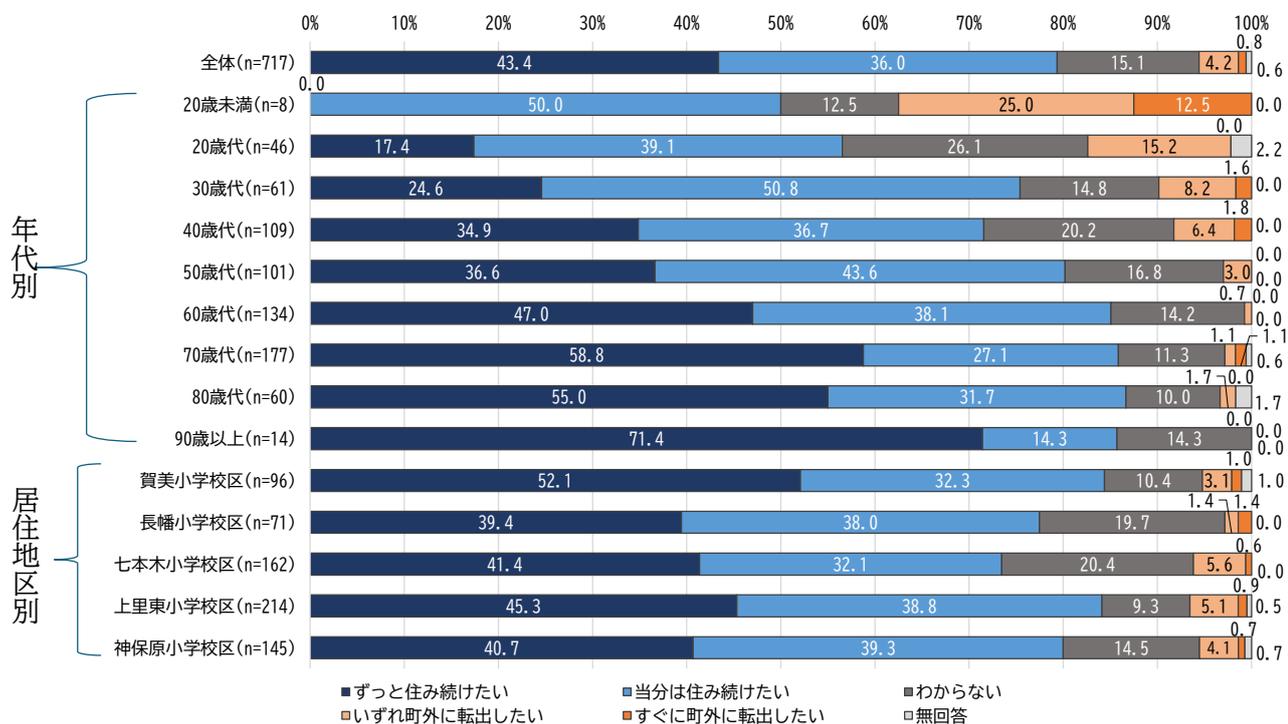


(工) 居留意向（年代別・居住地区別）

全体で見ると、「ずっと住み続けたい」（43.4%）と「当分は住み続けたい」（36.0%）の合計が79.4%となっており、おおよそ8割が住み続けたいとなっています。

年代別をみると、20歳代は5割以上、30～40歳代は7割以上、50～80歳代は8割以上となっており、年代が上がるにつれ居留意向が高くなっています。

居住地区別をみると、賀美小学校区（84.4%）と七本木小学校区（73.5%）の間に10.9ポイントの差があり、七本木小学校区において居留意向が低い傾向が見られます。

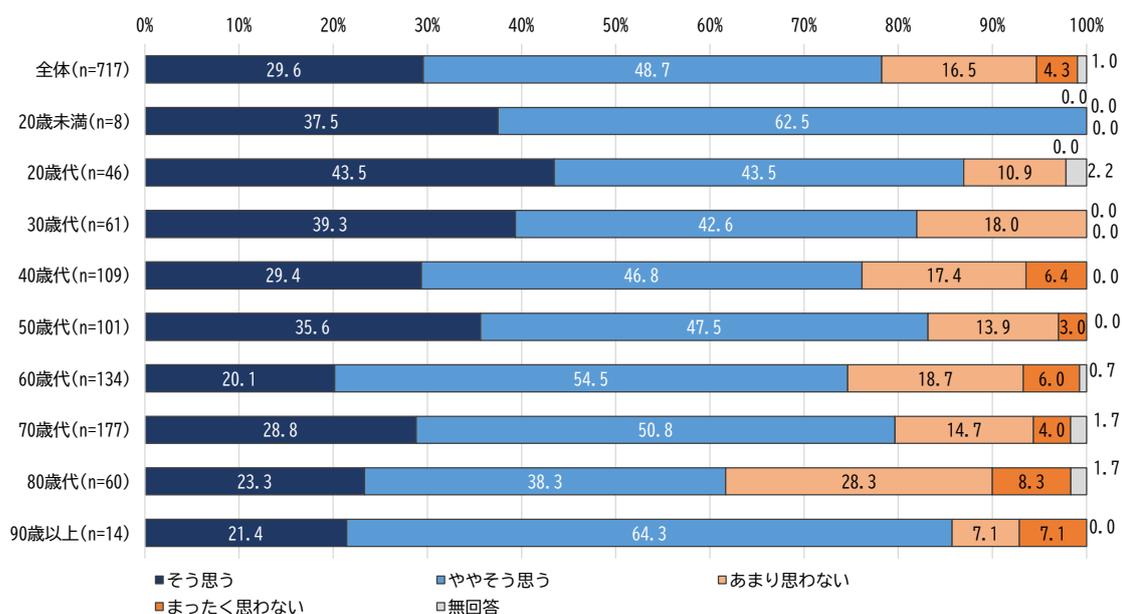


(2) 健康について

(ア) 健康認識（年代別）

現在は「健康」であるかについて全体で見ると、「そう思う」（29.6%）と「ややそう思う」（48.7%）の合計が78.3%で、7割以上健康であると認識しています。

年代別をみると、20歳代（87.0%）の健康認識が最も高く、40歳代、60歳代、80歳代との間におおそよ10～25ポイント差があります。

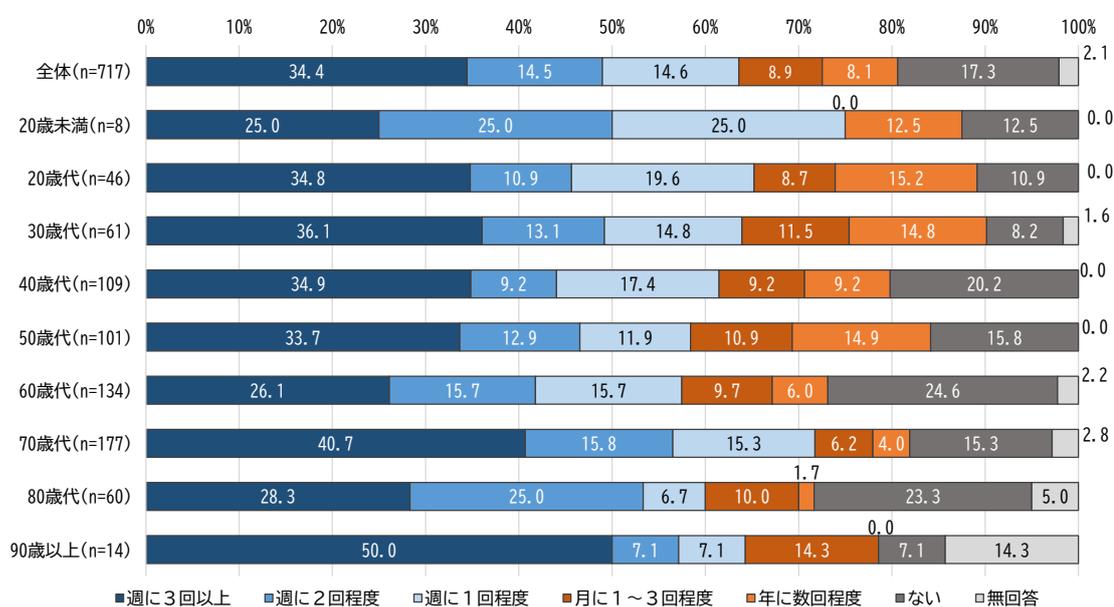


(イ) 運動の頻度（年代別）

過去1年間のスポーツ活動の頻度について全体で見ると、「週に3回以上」（34.4%）、「週に2回程度」（14.5%）、「週に1回程度」（14.6%）の合計が63.5%となっており、少なくとも6割以上の町民が週1回以上運動しています。

さらに年代別で見ると、週1回以上の運動習慣で比較すると、70歳代（71.8%）の運動頻度が最も高く、40～60歳代、80歳代との間におおよそ10～14ポイントの差があります。

運動などの機会が「ない」については、60歳代（24.6%）、80歳代（23.3%）が多く、20歳代～30歳代との間におおよそ12～16ポイント差があります。



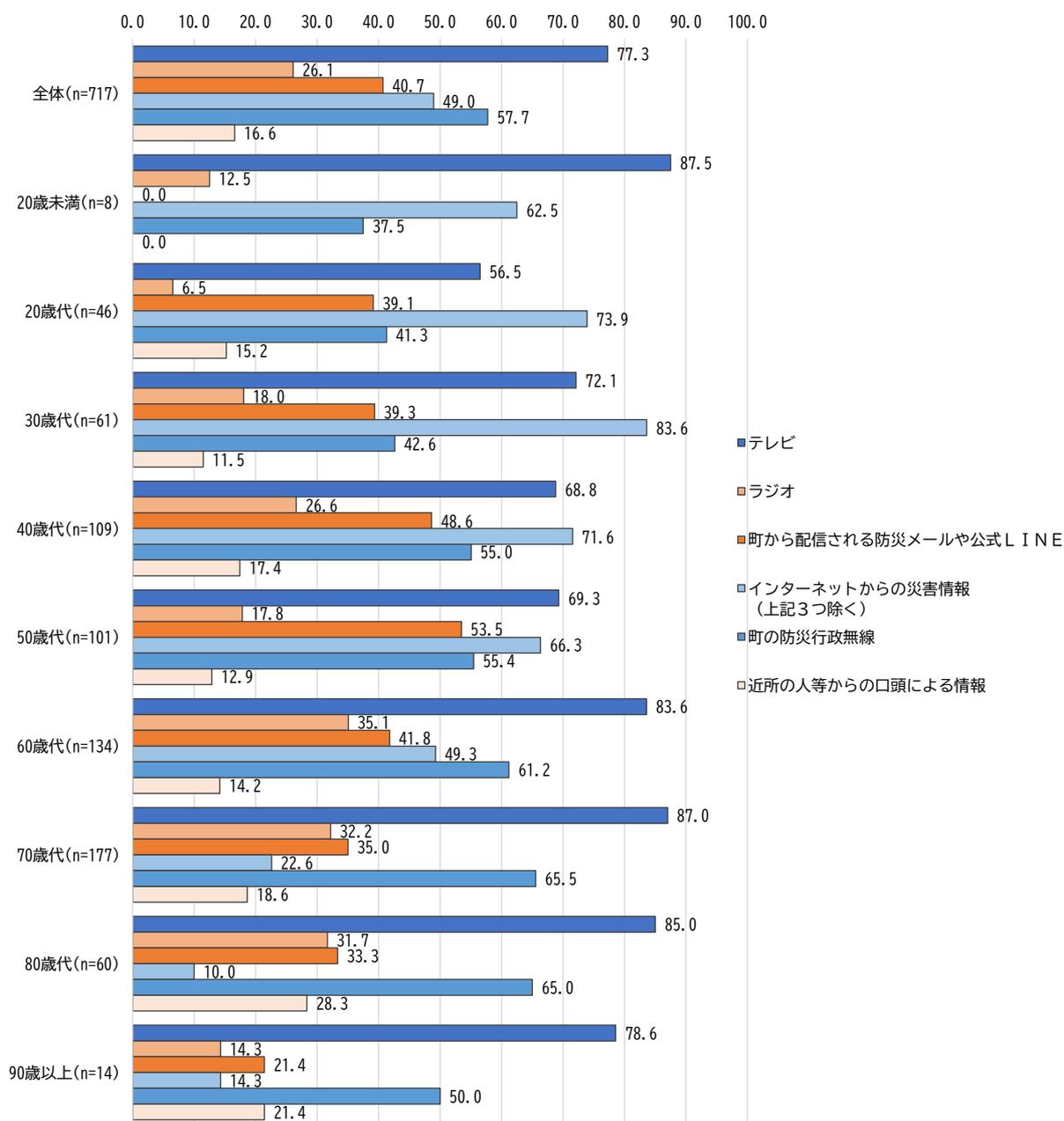
(3) 防災の情報源について（年代別）

災害時、避難の情報源について全体でみると、「テレビ」(77.3%)が最も多く、次いで「町の防災行政無線」(57.7%)、「インターネットからの災害情報」(49.0%)と続きます。

年代別でみると、どの年代でも「テレビ」が高い割合を占めており、特に70歳代(87.0%)が20歳代(56.5%)より30.5ポイント高くなっています。

「町の防災行政無線」において、20～80歳代まで年代が上がるにつれ割合が高くなり、「インターネットからの災害情報」においては、20～60歳代までは5～8割ほど高い割合を占めているのに対し、70歳代以上(1～2割程度)となると割合が低くなっています。

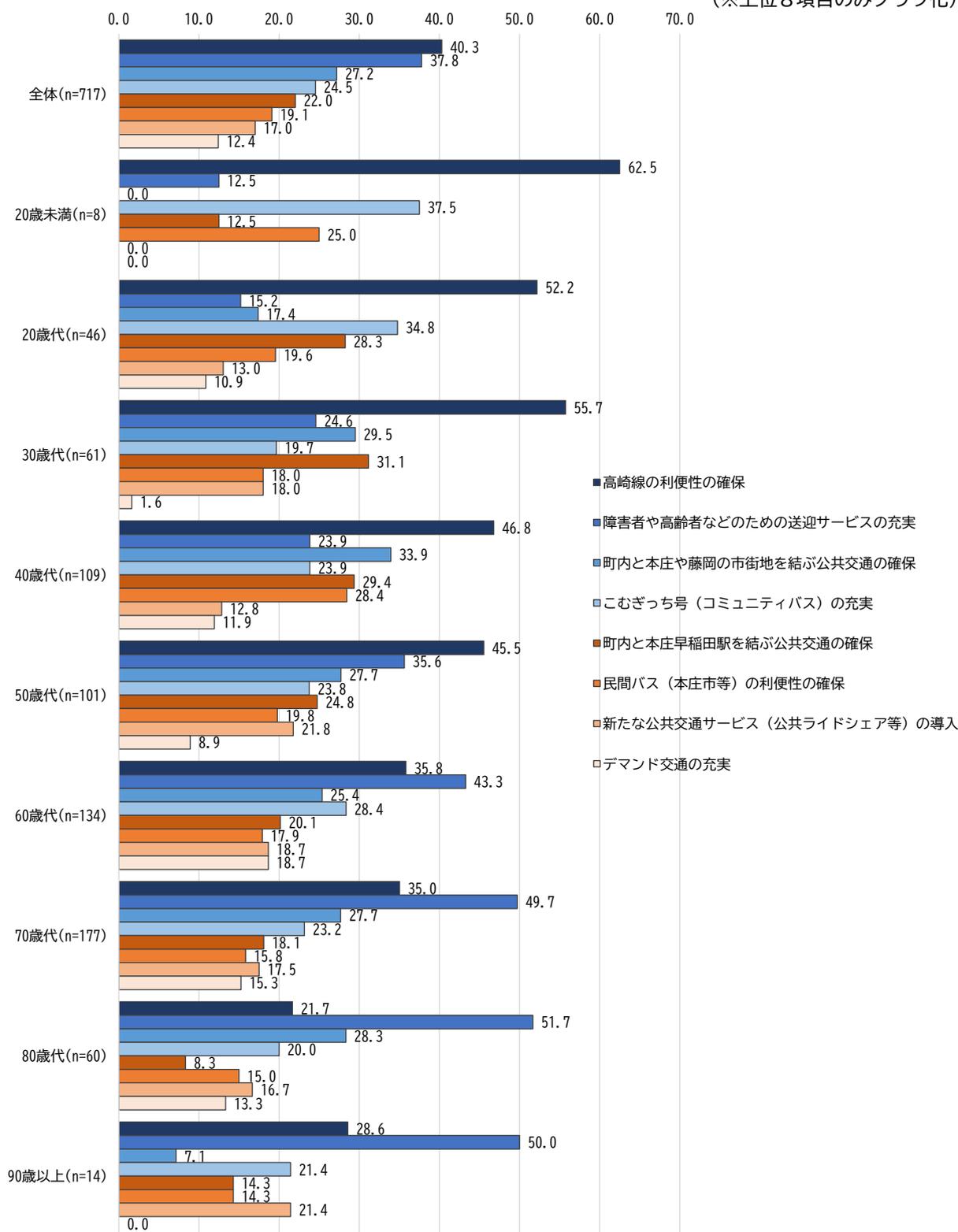
(※「その他」を除く6項目のみグラフ化)



(4) 公共交通対策について（年代別・居住地区別）

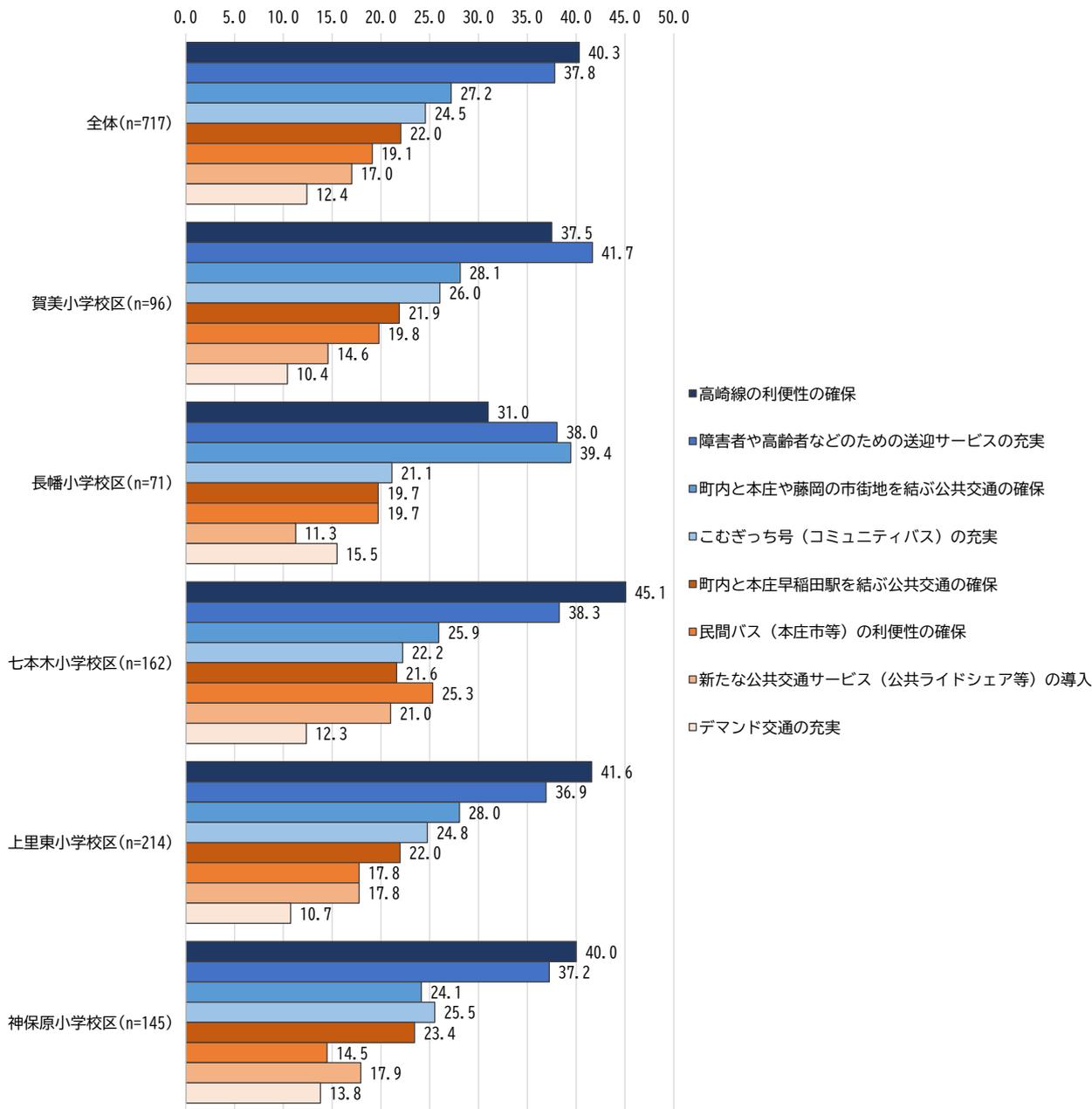
充実してほしい交通手段について年代別をみると、若い世代において「高崎線の利便性の確保」、高齢の世代において「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」の割合が高くなっています。また、「こむぎっち号（コミュニティバス）の充実」は20歳代（34.8%）を中心に、「町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保」は40歳代（33.9%）を中心に、「新たな公共交通サービス（公共ライドシェア等）の導入」は50歳代（21.8%）を中心に高い傾向にあります。

（※上位8項目のみグラフ化）



居住地区別にみると、「高崎線の利便性の確保」において、七本木小学校区（45.1%）が長幡小学校区（31.0%）より14.1ポイント高くなっており、「町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保」においては、長幡小学校区（39.4%）が神保原小学校区（24.1%）より15.3ポイント高くなっています。

（※上位8項目のみグラフ化）



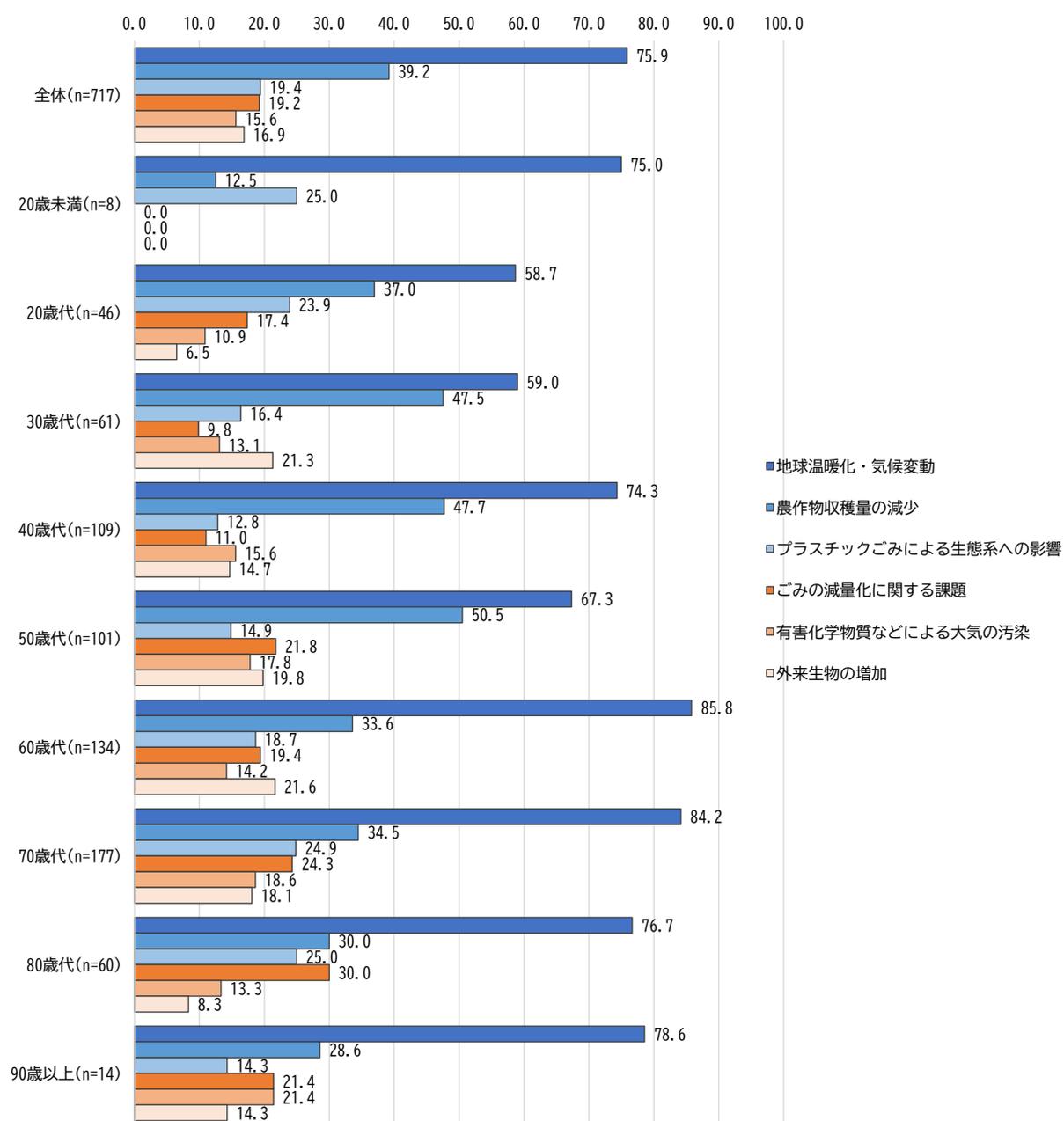
(5) 環境問題の関心テーマについて（年代別・居住地区別）

関心のある環境問題（全体1～3位）について年代別にみると、「地球温暖化・気候変動」において、60～70歳代（それぞれ85.8%、84.2%）の関心が高く、20～50歳代との間におおよそ9.9～27ポイント差があります。

「農作物収穫量の減少」において、30～50歳代（それぞれ47.5%、47.7%、50.5%）の関心が高く、20歳代、60～80歳代との間におおよそ10～20ポイント差があります。

「プラスチックごみによる生態系への影響」において、20歳代、70歳代、80歳代（それぞれ23.9%、24.9%、25.0%）の関心が高く、40～50歳代との間におおよそ9～12ポイント差があります。

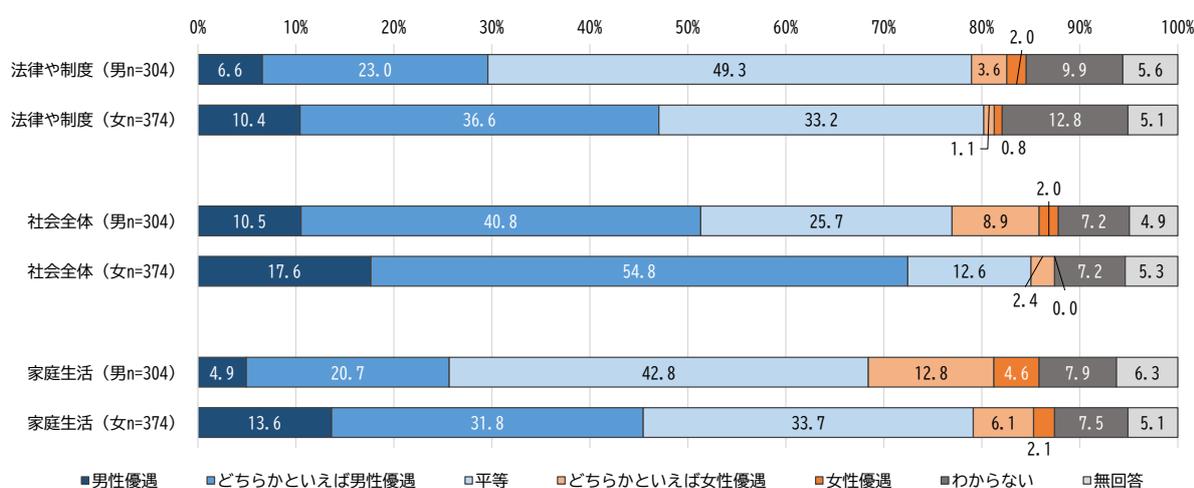
（※上位6項目のみグラフ化）



(6) 男女共同参画の推進について（性別）

男女の地位が「平等」であるかについて男女別に意見をみると、「法律や制度」、「社会全体」、「家庭生活」のいずれの項目においても、男性（それぞれ49.3%、25.7%と42.8%）と女性（それぞれ33.2%、12.6%と33.7%）との間におおよそ9～16ポイント差があり、男性の方がより男女が平等であると感じています。

一方、「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」の合計をみると、「法律や制度」、「社会全体」、「家庭生活」のいずれの項目においても、女性（各項目の小計47.0%、72.4%と45.4%）と男性（各項目の小計29.6%、51.3%と25.6%）との間におおよそ17～21ポイント差があり、女性の方がより男性が優遇されていると感じています。



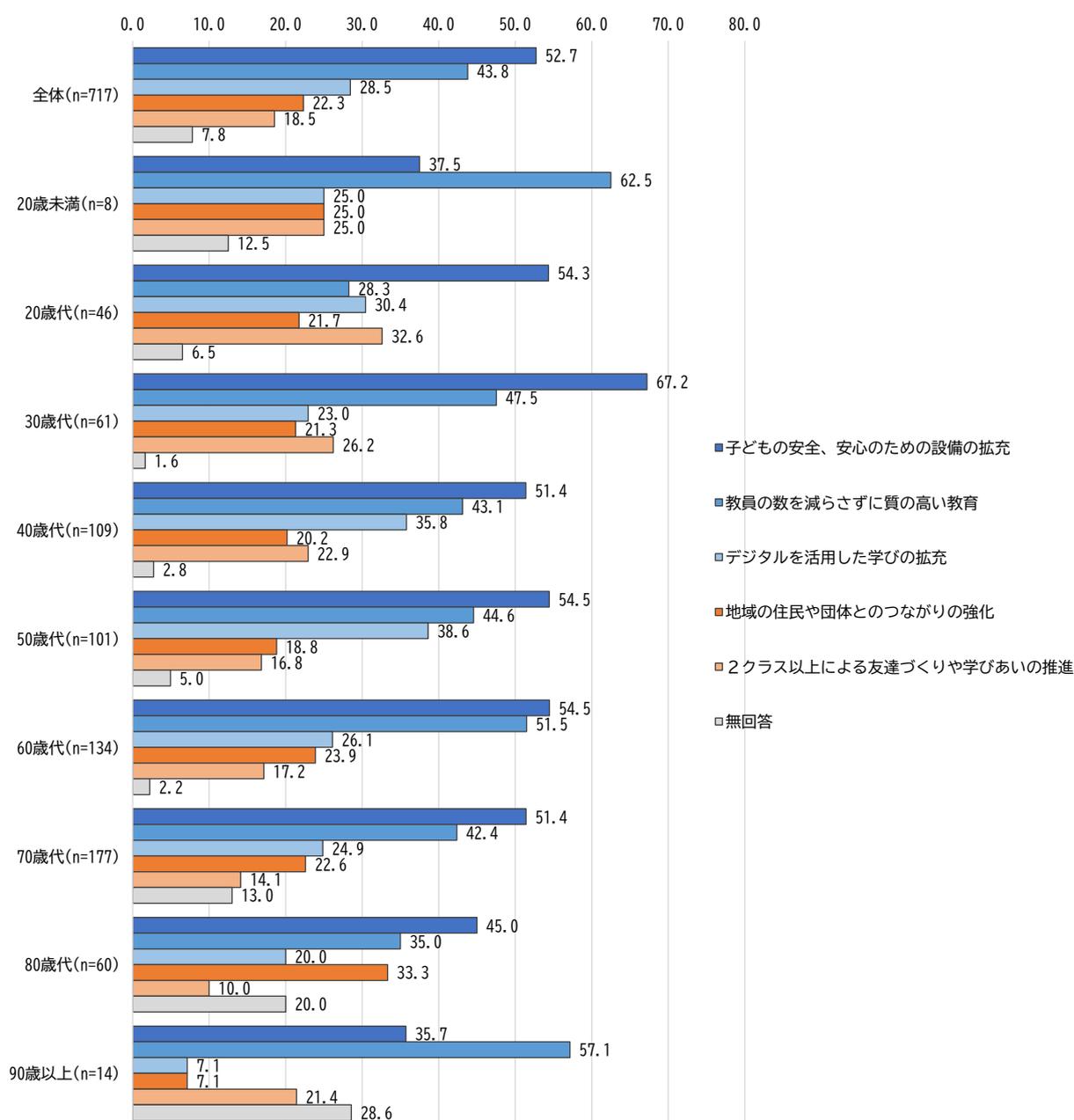
(7) 教育環境の取組について（年代別）

教育環境の取組について全体で見ると、「子どもの安全、安心のための設備の拡充」(52.7%)が最も多く、次いで「教員の数を減らさずに質の高い教育」(43.8%)、「デジタルを活用した学びの拡充」(28.5%)と続きます。

年代別をみると、「子どもの安全、安心のための設備の拡充」において、30歳代(67.2%)が最も子どもの安全と安心に関心があり、他の年代との間におおよそ10~30ポイント差があります。

「教員の数を減らさずに質の高い教育」においては、60歳代(51.5%)が最も高く、割合の低い20歳代、80歳代との間におおよそ16~23ポイント差があります。

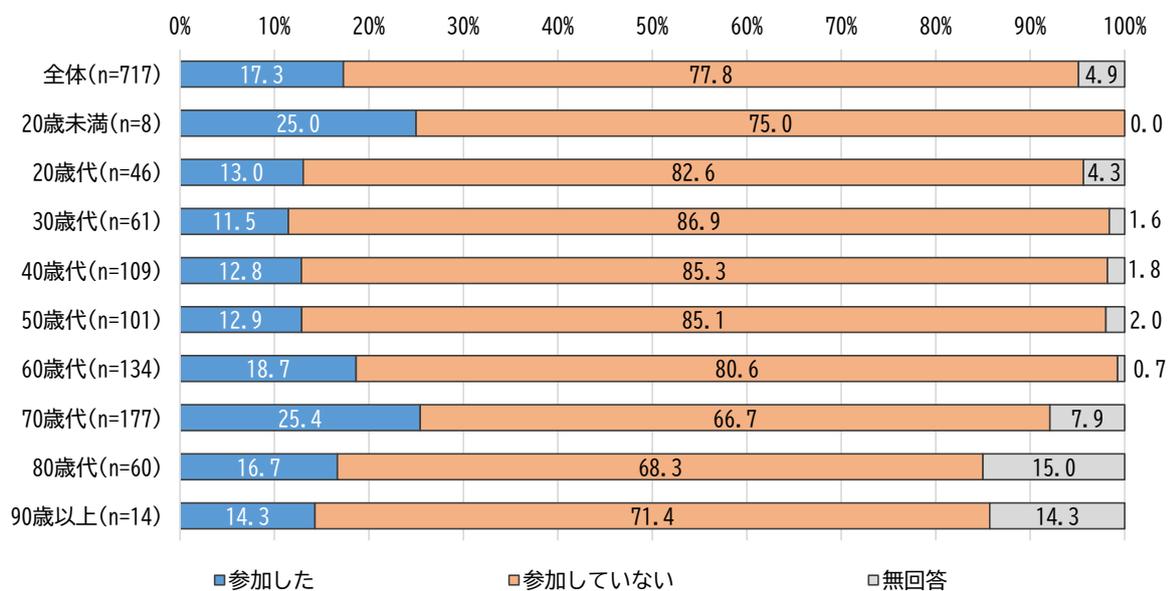
「デジタルを活用した学びの拡充」においては、50歳代(38.6%)、40歳代(35.8%)と20歳代(30.4%)が高く、80歳代、30歳代との間におおよそ7.5~18ポイント差があります。



(8) 地域との関わりなどについて

(ア) ボランティア活動の参加有無（年代別）

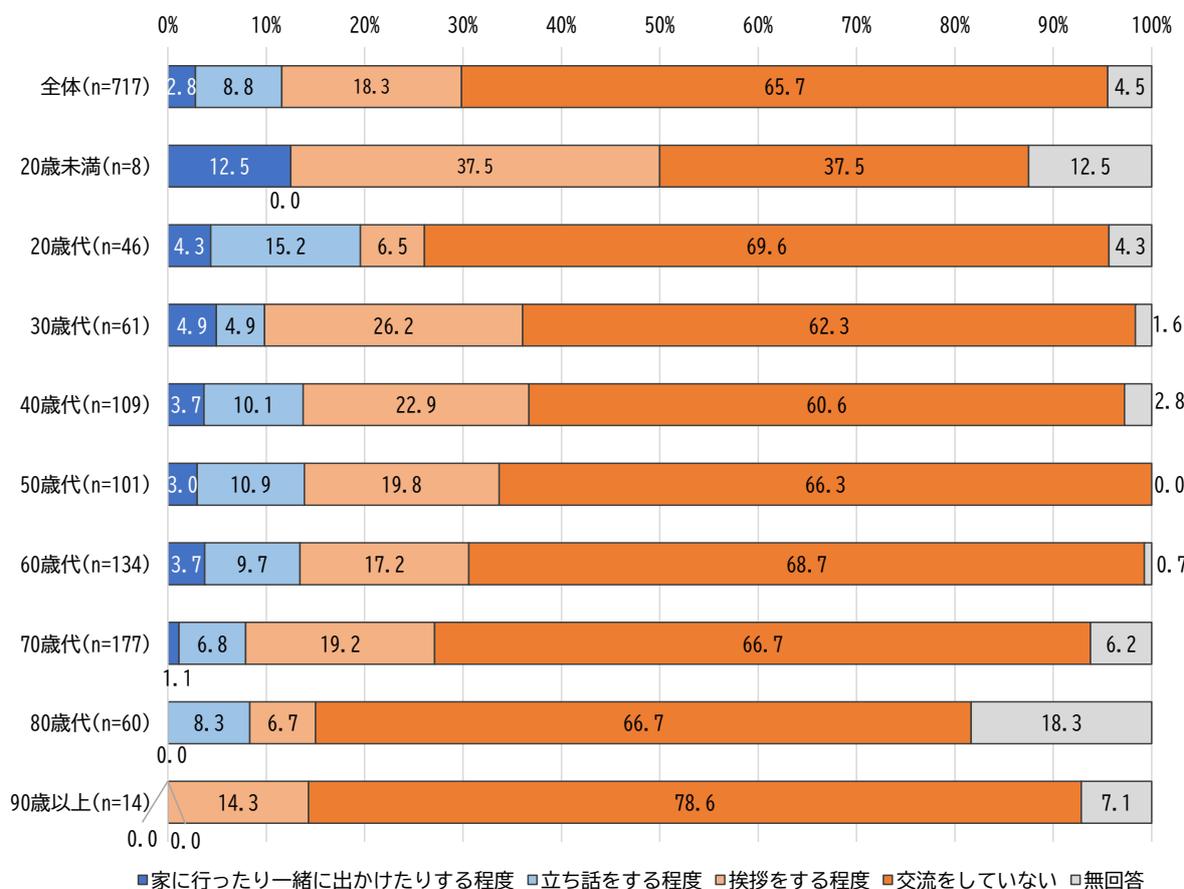
この1年間で何らかのボランティア活動に参加したかについて年代別にみると、70歳代が「参加した」割合が25.4%と最も高く、20～50歳代との間に10ポイント以上差があります。



(イ) 国際交流（年代別）

現在、外国籍の方と何らかの交流をしているかについて年代別にみると、「挨拶をする程度」において20歳代（6.5%）が最も低いのに対し、「立ち話をする程度」においては20歳代（15.2%）が最も高くなっています。

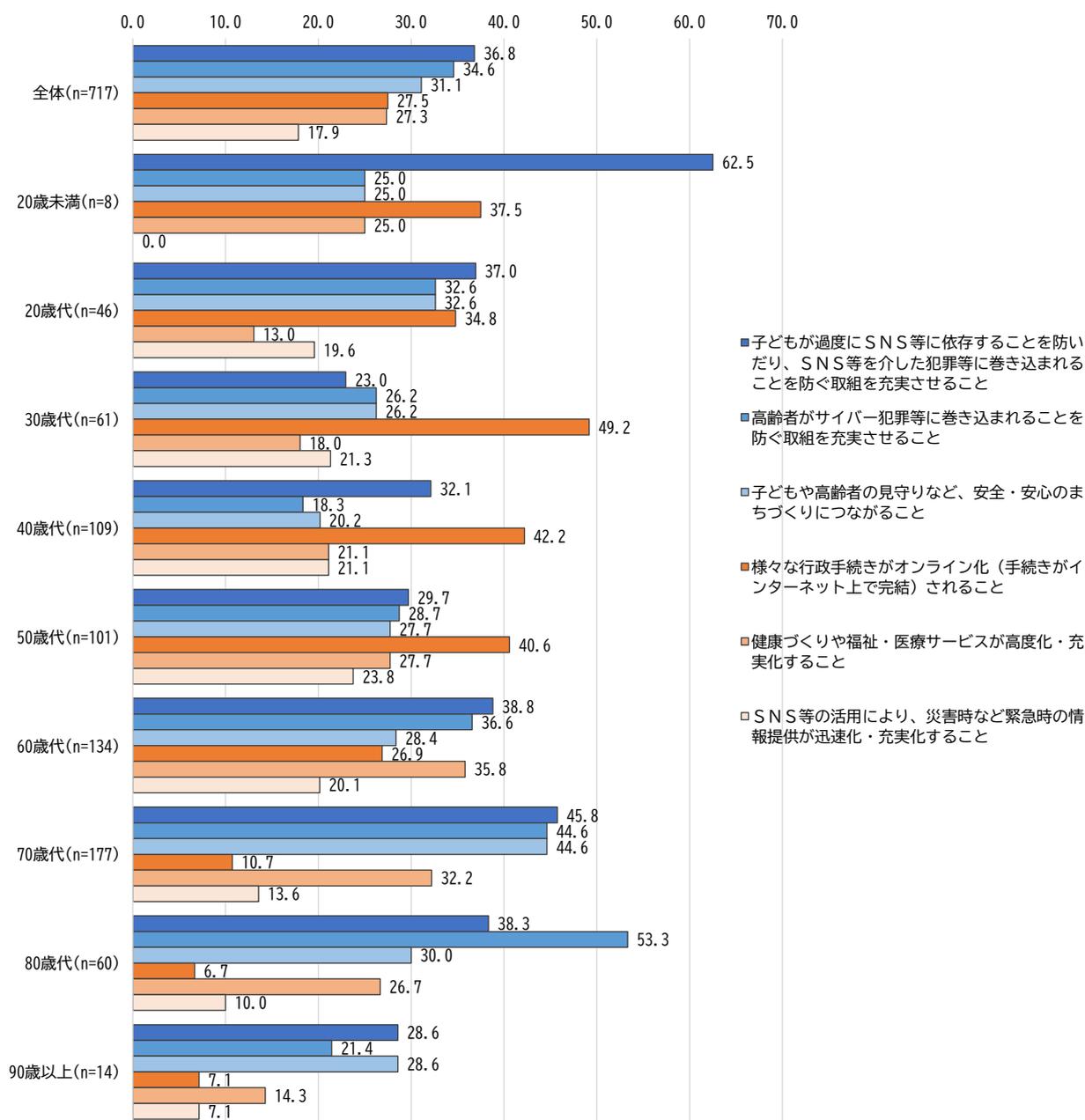
「家に行ったり一緒に出かけたりする程度」についてはどの年代も割合が低いものの、年代が高いほど何らかの交流（「家に行ったり一緒に出かけたりする程度」「立ち話をする程度」「挨拶をする程度」の合計）をしている人の割合は低くなる傾向がみられます。



(9) デジタル化について（年代別）

地域社会のデジタル化に注力すべきと思う取組（全体1～3位）について年代別にみると、「子どもが過度にSNS等に依存することを防いだり、SNS等を介した犯罪等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」（1位）、「高齢者がサイバー犯罪等に巻き込まれることを防ぐ取組を充実させること」（2位）、「子どもや高齢者の見守りなど、安全・安心のまちづくりにつながること」（3位）の3項目において、70歳代（それぞれ45.8%、44.6%、44.6%）が30歳代～50歳代と比べおおよそ15～26ポイント高くなっています。

（※上位6項目のみグラフ化）



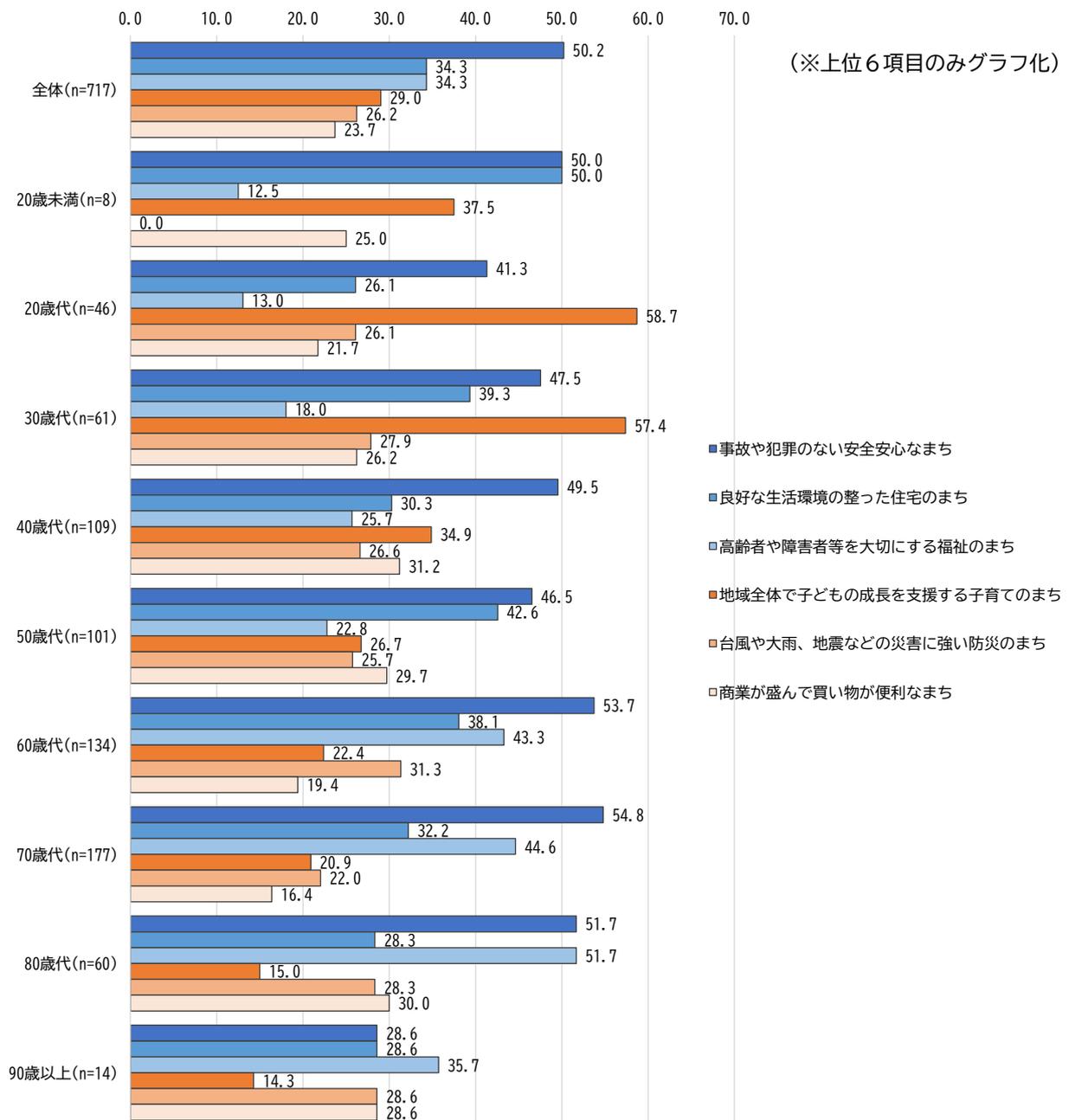
(10) まちづくりの方向について（年代別）

今後上里町のまちづくりの方向性（全体1～3位）について年代別にみると、「事故や犯罪のない安全安心なまち」（1位）において、20～80歳代まで幅広い年齢層が高い関心を持っています。

「良好な生活環境の整った住宅のまち」（2位）において、50歳代（42.6%）が最も高く、20歳代、40歳代、70～80歳代よりおよそ10～16ポイント高くなっています。「高齢者や障害者等を大切にする福祉のまち」（同じ2位）においては、80歳代（51.7%）が最も高く、20～50歳代よりおよそ26～38ポイント高くなっています。

「地域全体で子どもの成長を支援する子育てのまち」（3位）においては、20～30歳代（それぞれ58.7%と57.4%）が最も高く、他の年代よりおよそ23～43ポイント高くなっています。

「高齢者や障害者等を大切にする福祉のまち」においては、80歳代が51.7%（全体1位と同じ割合）と最も高くなっています。

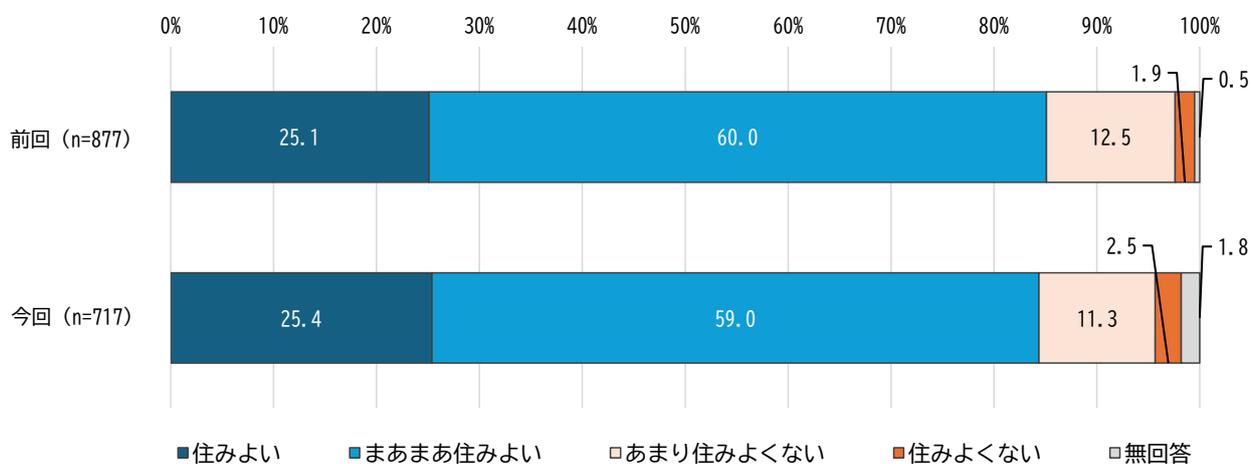


2 経年比較

ここでは前回調査（2021（令和3）年4～5月実施）、今回調査（2025（令和7）年9月実施）での、主要な共通設問について経年比較を行っています。

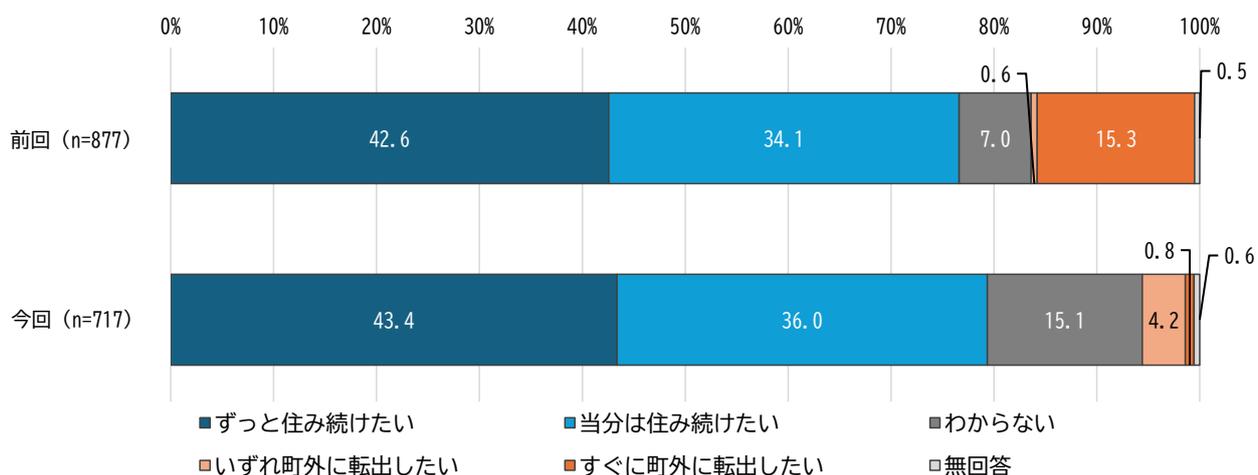
問8 あなたは、上里町は住みよいと感じていますか。（1つに○）

住みよさについて経年比較でみると、大きな変化はなく、いずれも「住みよい」と「まあまあ住みよい」の合計は8割超が続いています。



問9 あなたは、今後も上里町に住み続けたいですか。(1つに○)

上里町に住み続けたいかについて経年比較でみると、「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」において、今回は前回より微増しており、「すぐに町外に転出したい」においては、今回のほうが前回より10ポイント以上減少しています。一方、「わからない」は今回の方が8.1ポイント増加しています。



3 CS分析（満足度と重要度の相関関係）

CS分析は、町の施策に対する町民の満足度と重要度を掛け合わせて4つの象限に分類し、改善の優先度が高い施策を抽出することができる分析手法です。その相関関係をみるために、まず評価点を算出します。

■評価点の計算方法について

各施策の満足度に関して、評価点での分析を行います。

各施策に関して、選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値（加重平均）を使用して計算を行います。さらにそれを偏差値に置き換え、満足度と重要度の関係を分析し、重点改善分野を抽出します。

※満足度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left\{ \begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ \text{「やや満足している」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ \text{「やや不満である」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ \text{「不満である」の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array} \right\} \div \text{無回答以外の回答者数}$$

※重要度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \left\{ \begin{array}{l} \text{「重要である」の回答者数} \times 5 \text{点} \\ \text{「やや重要である」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array} \right\} \div \text{無回答以外の回答者数}$$

得点化を行い、平均得点を整理

偏差値に置き換えて、満足度と重要度の
関係から、重点改善分野を抽出

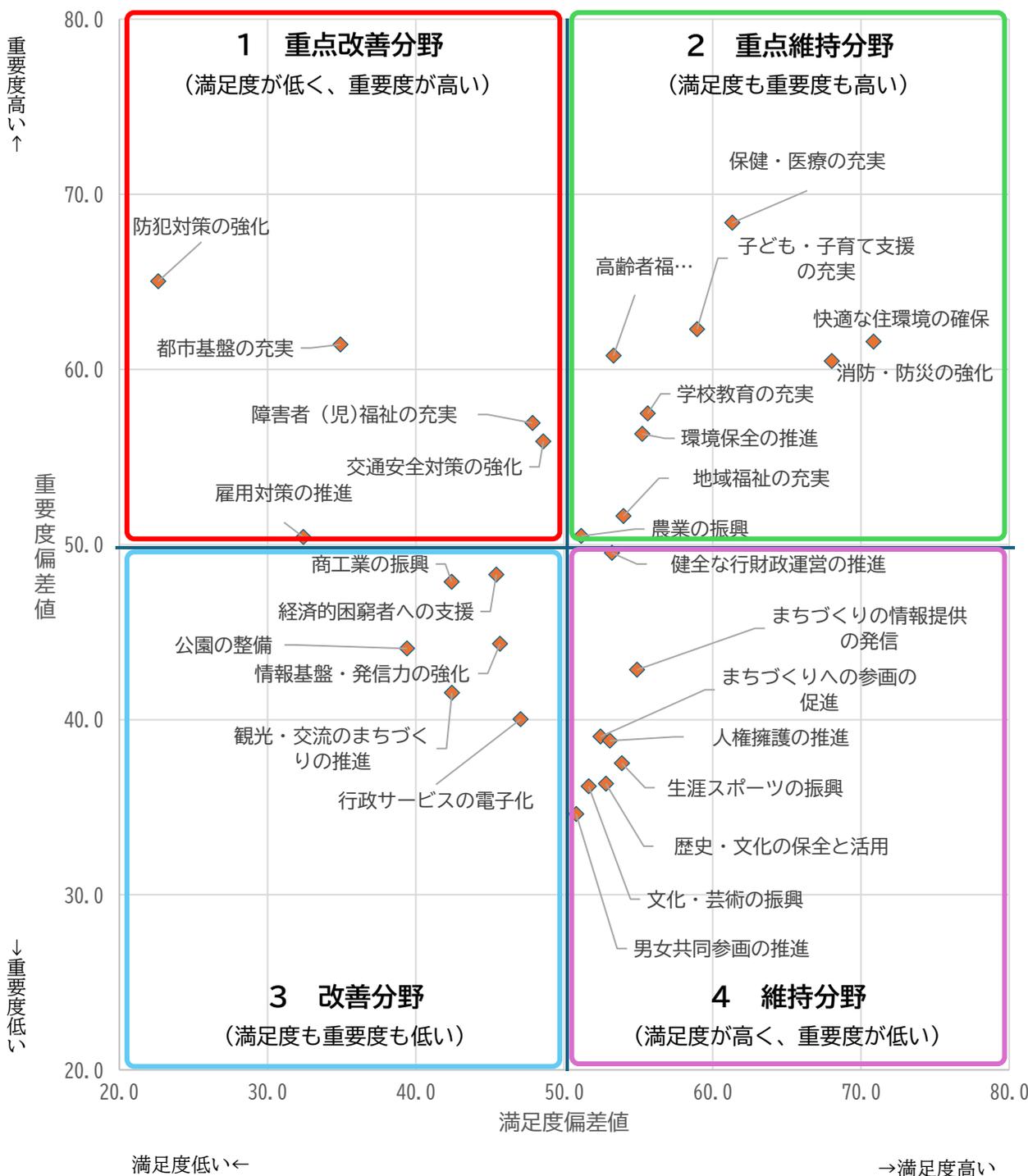
次の表は、評価点を偏差値に換算した、各施策の一覧表です。

施策分野	満足度	重要度
1-(1)保健・医療の充実	61.3	68.4
1-(2)地域福祉の充実（住民相互の支え合い活動）	54.0	51.6
1-(3)子ども・子育て支援の充実	59.0	62.3
1-(4)高齢者福祉・介護の充実	53.3	60.8
1-(5)障害者（児）福祉の充実	47.9	56.9
1-(6)経済的困窮者への支援	45.4	48.3
2-(7)都市基盤の充実（道路や歩道の整備など）	34.9	61.4
2-(8)情報基盤・発信力の強化 （インターネットの環境整備やそれを活用した情報発信）	45.7	44.3
2-(9)環境保全の推進 （自然保護、ごみ・排水処理、省エネなど）	55.2	56.3
2-(10)快適な住環境の確保（安全な住宅や水道の整備等）	70.8	61.6
2-(11)公園の整備	39.4	44.1
2-(12)消防・防災の強化	68.0	60.5
2-(13)防犯対策の強化（防犯灯、防犯カメラの設置等）	22.6	65.0
2-(14)交通安全対策の強化 （交通安全教育、交通安全施設の整備）	48.6	55.9
3-(15)農業の振興	51.1	50.5
3-(16)商工業の振興	42.4	47.9
3-(17)観光・交流のまちづくりの推進	42.4	41.5
3-(18)雇用対策の推進	32.4	50.4
4-(19)学校教育の充実	55.6	57.5
4-(20)文化・芸術の振興	51.6	36.2
4-(21)歴史・文化の保全と活用	52.8	36.3
4-(22)生涯スポーツの振興	53.9	37.5
5-(23)まちづくりへの参画の促進	52.4	39.0
5-(24)まちづくりの情報提供の発信	54.9	42.8
5-(25)健全な行財政運営の推進	53.2	49.5
5-(26)行政サービスの電子化	47.1	40.0
5-(27)男女共同参画の推進	50.8	34.6
5-(28)人権擁護の推進	53.1	38.8

前ページの表を、横に満足度、縦に重要度を置いて、相関関係として示したものが、下のグラフになります。

偏差値化しているため 50 が平均を意味しており、偏差値 50 のラインで4つの象限に分けると、満足度が低く、重要度が高い施策は重点改善分野にあると考えることができます。

満足度と重要度の相関関係



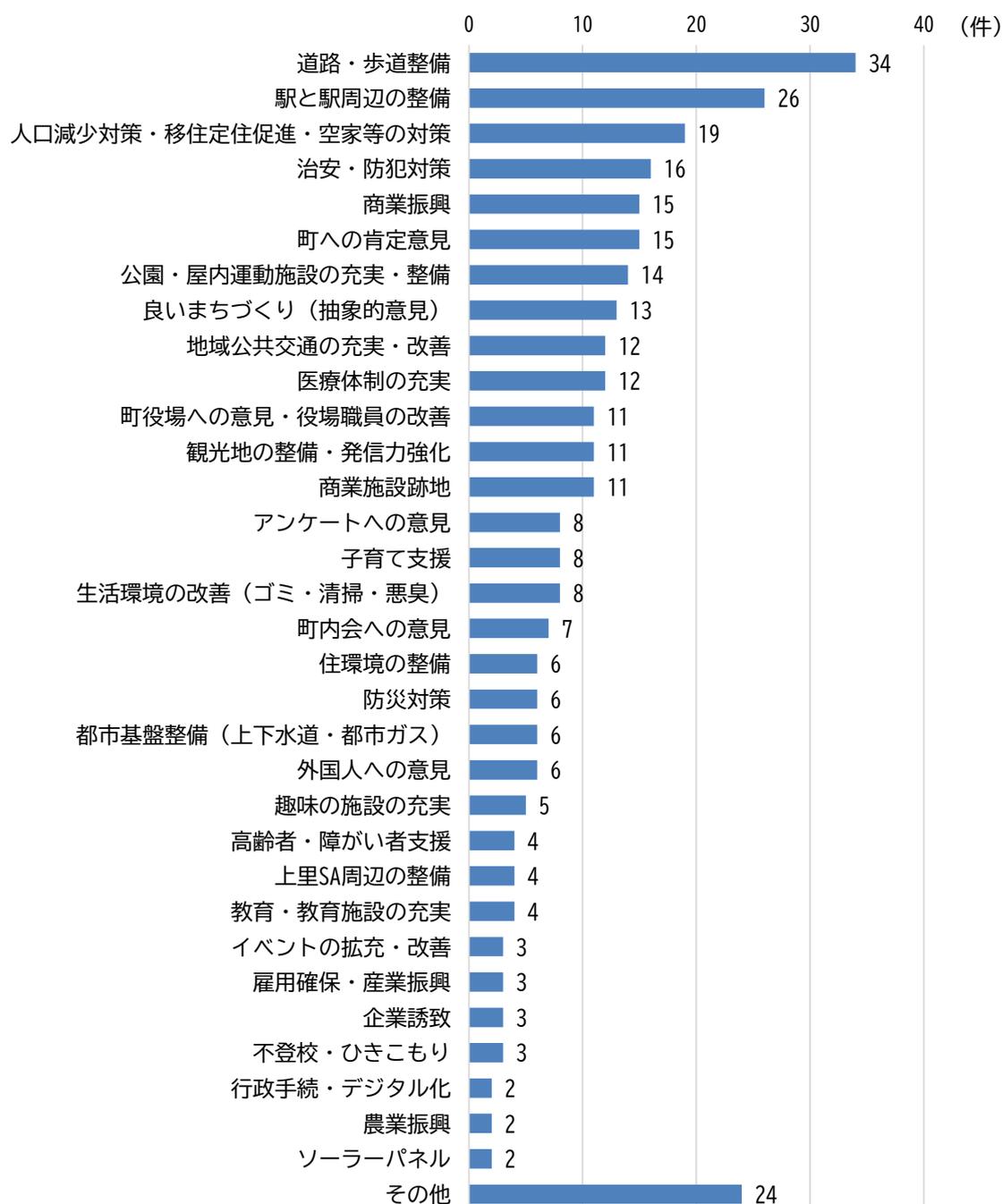
■今後力を入れるべき施策

以上から、満足度が低く重要度が高い「重点改善分野」に位置付けられる施策は、重要度の高い順に、「2-(13)防犯対策の強化（防犯灯、防犯カメラの設置等）」、「2-(7)都市基盤の充実（道路や歩道の整備など）」、「1-(5)障害者（児）福祉の充実」、「2-(14)交通安全対策の強化（交通安全教育、交通安全施設の整備）」、「3-(18)雇用対策の推進」となっています。住民の、総合的な満足度を効果的に高めていくためには、これらの施策のさらなる充実が求められています。

V 自由意見のまとめ

1 自由意見の概要

最後の自由意見は、意見の内容ごとに分類・整理し、185人の回答者から、329件の意見をいただきました。分類のカウントは、1つの意見が複数の意見にカウントされている場合があります（例えば、「神保原駅周辺を整備してほしい」という意見は、「駅と駅周辺を整備」と「商業の振興」の両方でカウントされています）。分類の結果は以下の通りで、「道路・歩道整備」が最も多く34件、次いで、「駅と駅周辺を整備」が26件、「人口減少対策・移住定住促進・空家等の対策」が19件となっています。



2 自由意見の具体例

ここでは、上位 10 位の意見について、具体的な記述のある意見を中心に掲載しています。なお、個人が特定できる可能性があるものや、誹謗中傷と取れるもの等については、編集して掲載しているかまたは非掲載としています。

【1 道路・歩道整備】

自由意見
<p>子供たちの通学路に歩道がないところが多い。全てとは言わないが交通量のある所については整備を考慮してもらいたい。真夏の下校では涼む所もなく、熱中症の心配から送り迎えをしている家庭も少なくない。夏の間だけでも送迎バス等、町が中心となって民間企業と協力することはできないか。道路に関して、空き家など手入れのされていない住宅からの雑草・樹木のはみ出しが危なく感じる。管理がいき届いていない家や敷地に対して町が指導してほしい。</p>
<p>こちらは上里町の端っこの地域。街灯の数がかなり少ない。設置を検討してほしい。中学下校には暗くなり子供達が心配でたまらない。</p>
<p>上里は、道路が汚い。凸凹だらけ、雑草だらけ ウニクスの横の道は、広くしたいようだけど何もなっていない。広くなったり、細くなったり電柱がでっばっていたりで、事故が発生する原因となっている。子供たちの通学路も、歩道のない所を渡らせたりと危ない。しっかり整備するべき。</p>
<p>最近の気候では集中した雨が多く、すぐに道路が湖状態です。排水強化を希望します。</p>
<p>駅から 17 号まで、道の整備をして、上里町を住みやすい町にしてほしいです。</p>
<p>上里町の道路に設置してあるミラー（カーブミラー）、汚れ老朽化でとても見づらいです。どちらに言ったら良いのかもわからない。夏場は道路へ草やツルなどが進入してきて、元々狭い道が増々通りづらくなりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・神保原駅北口の主要道路の改善（歩道の確保必須） ・東側の線路沿いの道路の利便化（遠回りしないと行けない）
<p>上里町は道路がひどい。通学路も草が伸びほうだい。大きな穴があいて自転車も転倒しそうになったり七本木地区の新幹線側道は整備してほしいと思います。</p>
<p>道路の状態をどうにかして欲しい。場所によってはセンターラインまで消えていたり、歩道の草が繁って通れなくなっていたり、道路も狭くなっていたりして危ない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・道路の修善してある所がデコボコで車の運転がしづらく以前にパンクしてしまった事があるので点検して欲しい。 ・農道のわきの草が道にはみだしている所が多く車に傷がついてしまうので草刈りをして欲しい。
<p>最近、道の方まで雑草が、生えているところが多くとても危ないので、なんとかしてほしいです。</p>
<p>歩道を歩くのに草が邪魔であり、街灯が少なく夜道は怖く危険だと思います。</p>
<p>町道の舗装：周辺に住宅が新築され、交通量が増える中で砂利道の町道舗装が長年の要望にかかわらず未だに実現できない。浸水等の防災の観点でも整備を急いでほしい。これが切実な上里町への要望です。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・道路がせまくなったり広くなったりあぶないので広くしてほしい（ウニクスの西の道） ・道路の植木が出ている。きれいだが、家の方に切ってほしい。道がせまくなりあぶないので、指導してほしい。

自由意見
道路の整備計画を考えて開発してほしい。ユニクスへの行く道は、非常に考えられない状態である。交通安全の面から非常に悪い道路である。開発時の指導ができてないと思える。
<ul style="list-style-type: none"> ・夜になると道路が暗いので明るい街灯をつけてもらいたい ・駅北の道路を国道にストレートにぬける様にしていきたい

【2 駅と駅周辺の整備】

自由意見
駅の南口でも良いから、コンビニがあると便利だと思う（ちょっとした時間に涼みたい。電車から家に帰る前、乗る前に便利だと思う）
自分が上里町に居住する上で特に不便と思うことは、神保原駅集辺の商業施設の無さ、改札から反対側へ向かう手段が階段しかないこと、等々、駅周辺の環境が良いとは言えません。町の高齢化が進む中、駅のつくり等は高齢者に優しくない環境になっています。階段のみならずエスカレーターやエレベーター、スロープ等の設置を強く要望します。理想は、本庄駅と同規模程度の駅舎の設立です。また、神保原駅から国道17号へ行く道が直線ではない為、アクセスのしにくさも問題点と感じます。
神保原駅を普段から利用させて頂いております。神保原駅は、通勤、通学等利用者が大変多い駅と感じております。中でも北口からの利用者が多い様に感じております。今後の経済を鑑みるに交通の便の向上は町の発展に直結すると考えます。街の活性化、若者の参入へと確実に繋がるのではないのでしょうか。是非、神保原駅の利便性向上、主に駅内コンビニの設置、籠原駅のような北口からホームに入れる設備改善をお願いいたします。
神保原駅北口側に、もっとコインパーキング（駐車場）を増やしてほしいです。特に駅近だと尚良いです。昔よりは現在は、だいぶ増えましたが、しかし、まだ足りません。休日になると午前のうちに何処の駐車場も停められなくなり利用者としては大変困っております。せめて、元トライアルの敷地の駐車場を遊ばせておくのであれば、除草をし、そこを駐車場として利用させて頂くことはできないのでしょうか？駅まで少し歩きますが、あれだけの広さがあればコインパーキングとして運営するのも役立ちます。現在、神保原駅を利用される方々で駐車場の取り合いの日々です。どうか、ご検討頂けますと幸いです。宜しくお願い致します。
上里町への玄関口である神保原駅の北側が過疎化しているため、町外から人が中々入ってこないと思う。神保原駅南口の利便性改善や北口の活性化をまず行い、そこから上里町全体を活性化して欲しい。
神保原駅の改札を本庄駅のように2階に設置してください。南北から出入りできるようにしてほしいです。駅が古すぎて屋根とか階段とかの耐久性について不安です。
神保原駅南口通りが閑散としているので、ショッピングモールや総合病院といった施設の誘致を考えていただきたい。
神保原駅北のジャスコ跡地（トライアル跡地）の整備を早急に行なって欲しい。廃墟になっていて治安の悪化につながりかねません。ジャスコ跡地を片付けて、街の発展より駅前整備が先かと思えます。
神保原駅北口ロータリーの充実（送迎車で混み合う）。コンビニを作してほしい。トイレの改築。
神保原駅の北口はいつまで経っても変わらなくて、たまにマルシェとかやってるけど、一部の中での感じで。トライアル跡地、どうにかしてほしい。スポッチャみたいなスポーツ施設やサウナとか地

自由意見
域の人が集まったり、駅を利用してくる人がいれば集客できるのでは？
<p>駅の橋上化（もしくは今ある歩道に自動改札だけ作る）をお願いしたいです。南口の利用者の方が多いと思うので。それにより便利な駅になれば、東京の方に勤めている方が神保原に家を建てて通いたい、と思うことができるかと思えます。少しでも町の人口が増えたと、それにより子供の数も増加するのではないのでしょうか。</p>
<p>神保原駅北口の主要道路の改善（歩道の確保必須）。東側の線路沿いの道路の利便化（遠回りしないで行けない）。トライアル跡地の有効利用（早急に）。</p>
<p>神保原駅南口にも改札口があると便利、ロータリーはまあまあ大きいのに。</p>
<p>神保原駅南にエレベーターがあると良いと思います。階段が大変。北口の駐車場が少ないので南口利用が多いため。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・神保原駅が簡単な南口で形状が通常でなく、恥ずかしい。橋上駅にするには莫大な費用がかかるため、容易な事ではなく期待薄だが、それができるとな商業、工業、農業の企画で町の財政を豊かにし、若い人口も増え栄える町にしてほしい。上里町は、この辺りでは人気なので企画次第。 ・駅～三町へ南へ真っすぐ行く農道に街灯が無く女子高生の自転車での帰路がいつも心配。 ・駅周辺なのに家畜の臭いは、これからはそぐわない為、遠隔地へ移動していただくのが今の時代に合っている。
<p>駅前開発に大いに期待します。隣県隣町からの利用もある神保原駅を中心に、賑やかな町、ゆったりした町、美味しい（物が並ぶ）町、老若男女が行きかう町に。平成・令和の趣味の教室が有ったりも（上里の才能ある人＝人材発掘）。（上里S A賑わいの様に）北と南の中心に神保原駅前をとも思います。</p>
<p>神保原駅北口広場について。神保原駅の所有だと思いますが、交番前が有料駐車場になっています。上里町の顔として整備してください。</p>
<p>駅周辺に店が無いのが上里町を田舎っぽくしているので、コンビニとか喫茶店があればと思う。</p>
<p>神保原駅前は昔と変化なく、駅に続く一本道はお寺が道路までも墓地で占領され50年前と変わらずです！！（旧トライアル）跡はそのまま、以前のような活気がない気がします。以前は駅前の駐在所におまわりさん？が居て、時には一軒々回って家族構成等聞いて心配事等聞いたりして安心安全な事と思いましたが、それもなくなりました。高齢者にとっては不安な一面でもあります。</p>
<p>町の商業を振興させるためには、神保原駅を中心にした半径1 km以内特に、トライアル跡地を町が買い上げて本庄市役所跡地に作ったハニポンプラザみたいなものをまず町が作って、その残った所に、古くなった商工会を移転させたり、商業イベントや消費者サービスなど販売促進ができる会場、つまりある程度の広さのある建物を作ってほしい。</p>
<p>駅の名前を上里駅にかえてほしい。駅の南側には、両側に歩道有るが、改札口をつけてほしい。駅の歩道に屋根をつけてほしい。風の強い日はたいへん。</p>

【3 人口減少対策・移住定住促進・空家等の対策】

自由意見
<p>水源は行政に守ってほしいです。行政業務はDX化を進めて経費削減、その分若手の起業家が起業しやすい制度を作ることによって都内・都内近郊からの若手移住促進して欲しいです。魅力のある街だと感じています。</p>
<p>地域の因習が多すぎて、今すぐ町を出たくなる。何かにつけて、地域の役だ、委員だと、形だけで何もしていない業務にタダ働きで、強制参加させられ、それを役場や行政が主導でやらせている。住民の善意にふんぞりかえって何も改善に動かない。相続等で、農地を受けついでが、そもそも何も農地を使ってない人間に、「役員になれ」など、平然と言ってくる状況を、役場、行政が放っておいている。今すぐにやめさせて下さい。非農家の人間をまきこむのをやめて下さい！！⇒こういうことをしてる限り、人口など減るだけで、人はふえません。同じ田舎なら、埼玉南部、千葉北部に住む方がよっぽどマシなので、変わらないなら、引っ越します。</p>
<p>空き家対策を推進してください。将来的に人が住む地域、農業、工業の地域を分け、コンパクトなまちづくりを目指してください。その上で住宅地には下水道の整備をしてください。</p>
<p>町内でもっと雇用の創出ができると思います。それができれば、人も流入し、人の数が増え、税収が増えて町の財政が豊かになると思います。まずは財源確保の必要があると思います。(会社の誘致、工業団地の誘致など)</p>
<p>休耕地を整備して農業を体験したい方に貸し出すのはどうでしょうか(小さいスペースに区切って、たくさんの家族に自由に農作物を作ってもらう)。せっかくSAから近い場所に町があるのですから、都会の方でも来やすいと思います。少しでも町の人口が増えると、それにより子供の数も増加するのではないのでしょうか。</p>
<p>新築の家は建っているが人口が減少している 大企業を誘致し活気の有る町づくりしないといけない JRやスマートインターを活用しきれていない</p>
<p>最近、どこの地域でも、空き家が増えてきて、草が生えたり、アライグマなどが入ったりする事が増えているので、地域や町での対策を考えて欲しい。</p>
<p>上里町では、長い歴史上から見ても、災害の少ない場所です。学童保育も充実している。スマートインターもある。空家をリノベして、子育て世代の移住に、力を入れてほしい。もっと、アピールすべき。</p>
<p>住宅地付近の空地は農地として貸すのではなく、他の活用をして欲しい。冬は砂が舞い、草が住宅敷地内に入ってくるので近くに住んでいる住民の迷惑を考えて欲しい。</p>

【4 治安・防犯対策】

自由意見
駅近くの道がとても暗く、危ないので明るくしてほしいです。
旧トライアルの場所に、お店ができてほしい。そのまま放置してあるので、劣化が気になります。また、若い子たちが進入して、治安が悪くなります。(もうたまり場になっている)
こちらは上里町の端っこの地域。街灯の数がかなり少ない。設置を検討してほしい。中学下校には暗くなり子供達が心配でたまらない。
小学生の通学路を、近くの外国人実習生達をマラソンさせているのはやめていただきたい。旧トライアルの木陰でサボって座りこんでいる様も目にするが、そんな集団の中を小学生が一人歩いて通学しなければいけないのは危ないと思われる。人目の多い道にマラソンのルートを変更するか他にやりようはあるのではないだろうか。
街灯が少ない
県道 22 号ローソン七本木店から 23 号にぶつかるまでの歩道の街灯を増やしてほしい。夜道が暗くて怖い。
不審者が多いので見守り体制を強化して欲しい。以前外国人の不審者情報があったが、これから外国人が増えていくのでとても心配。
埼玉県の犯罪件数で上里と本庄は共にワースト上位らしいです。※不審者の訪問が多い。
夜間の照明が少ないと感じます。女性 1 人で夜間帰宅する場合、不安を感じると母親も言っています。防犯の意味からも、明るい道路にしてほしい。
歩道を歩くのに草が邪魔であり、街灯が少なく夜道は怖く危険だと思います。
夜になると道路が暗いので明るい街灯をつけてもらいたい

【5 商業振興】(ここでは「駅と駅周辺の整備」で出てきた意見は非掲載にしています)

自由意見
イオン内の店舗が少ない(フードコート)
上里イオンの中の店舗、もっと魅力的な店が入らないと勿体無い
イオンがウニクスに負けてる感じがします。もっと人が市外からも集まるようにテナントが入ると良い。

【6 町への肯定的意見】

自由意見
<p>上里町は新しい商業施設を取り入れたり、保育料を無償化にしたりするなど、子育てしやすい町作りにとっても力を入れていると感じています。実際に他の地域に住んでいる友達からも「上里町に住んでるの羨ましいなあ～」と言われたことがあります。多くの人が“住みたい”と感じる町を作ることはとても大変なことであるのに、本当に素晴らしいことだと思います。今後の財源の確保のためにも、花火大会や大きな祭りなどを行うことで、他の地域からも人が集まり、より多くの人に上里町の良さを知ってもらえるのではないかと思います。このような機会をありがとうございました。</p>
<p>住民のより良い生活の為、日々奮闘いただきありがとうございます。自分自身、何かをしてもらっただけではなく一住民として一緒に何ができるのかを考えていく、そんな貴重な機会となりました。ありがとうございました。</p>
<p>町長はいろんなイベントに参加して下さい、頑張っていると思います。ありがたい。</p>
<p>上里町役場の職員さんはいつも親切です。</p>
<p>私が子供だった40年前より、住宅やスーパーが増えて緑がかなり少ない。駅北まちづくりプロジェクトは町上げてがんばっていて素晴らしい！ 上里SA周辺も活性化していて素晴らしい！</p>
<p>上里町という地名も気に入っております。今後も皆さんで協力して素敵な町を維持していけたらと思います。</p>
<p>上里町には、結婚してから今まで、本当にたくさん助けて頂き、本当に感謝の気持ちしかありません。ありがとうございます。まだ我が子は、19才と15才ですが、ここまで上里町で子育てをしてきて思った事、そしてあったらいいな。を素人な私が書いてみたいと思います。ただの町民の意見ですので、理想でしかないのですが書いてみます。</p> <p><感謝している事。助かった事></p> <p>①子供手当や18才までの医療費の支援。とにかく子供は感染症にかかりやすく、我が家は入院ばかりだったので本当にありがたかった。</p> <p>②低所得者の準保護の対応。なんとか生き抜く事ができました。</p> <p>③短大の奨学金の援助。こちらも感謝しかありません。</p> <p>④高校受験の為の中3生の無料勉強支援。ありがとうございました。</p> <p>⑤生涯学習や町の蛭や鮭、リーダー研修など、子供達は参加を楽しんでいました。親子共々楽しかったです。</p>
<p>役場の皆様、上里町の為これからも頑張って下さい。ありがとうございました。</p>
<p>小・中学生向けの学習支援の取組は素晴らしいのでっと広報などで宣伝・評価していただきたい。</p>
<p>若い時は、人とのつながり、子育て収入面で大変でしたが、現在は、快適な暮らしが、できてます。ありがたい事だと思っています</p>
<p>上里町では、長い歴史上から見ても、災害の少ない場所です。学童保育も充実している。スマートインターもある。空家をリノベして、子育て世代の移住に、力を入れてほしい。もっと、アピールすべき。</p>
<p>大変良い企画だと思います。若い人が中心と成り進めて下さい。これからの上里町に期待します。</p>

【7 公園・屋内運動施設の充実・整備】

自由意見
<p>本庄市のように公園をもっと作ってほしい。上里町は公園が少なすぎます。小さい子が遊べる公園・小、中学生が遊べる公園と分けて作るべきです。(青空パークのような公園は、どちらも使用しているので…)</p>
<p>子どもが気軽にボールで遊べる公園を作っていただきたいです。</p>
<p>長幡地域に公園を作って欲しい！みんな学校で遊ぶしかない。子供が遊べる場所(自分で行ける)が無い！！子供達で集まって遊ばー！が出来ないので、私達が子供の頃に子供どうして駄菓子屋さんでお小遣いを考えて買い物したりなどの経験がさせてあげられず、急に小学校の修学旅行でお小遣い管理などの事で子供が心配すぎます。家族で出かけた時に練習はさせていますが、子供達だけの環境がやっぱり経験的には理想です！美里町みたいに給食費を免除とか取り組んで欲しい。</p> <p>この様な取り組みがあれば上里町を出ていく人が減ってくると思う！</p>
<p>上里町町民自体が高収入者が比較的少ないので商業施設を作っても、あまり人が来ないので？風呂店などの大型施設をもって来て、健康とスポーツの町（サッカーや野球などのアスリート育成に力を入れて）として町づくりをしてはどうかと思う。</p>
<p>子どもが遊べる公園が少ないと思います。あおぞらパーク、長久保公園以外に遊具で楽しめる公園が思い付きません。こどもまんなか宣言どおり、子どもが真ん中のまちづくりをお願いします。</p>
<p>以前、上里に公園がないと話が上がり、あおぞらパーク等出来たが、子供が遊ぶにはいいが、大人がくつろいだり、散歩出来る公園がない。本庄の若泉公園のような緑豊かな公園がほしい。私が子供だった40年前より、住宅やスーパーが増えて緑がかなり少ない。駅北まちづくりプロジェクトは町上げてがんばっていて素晴らしい！上里SA周辺も活性化していて素晴らしい！</p>
<p>子供からの意見です。神保原地区は、安全に遊べる広い場所がないので、青空パーク同様の広さのある公園をつくってほしいそうです。</p>
<p>飛行場の建設とか高崎市との合併とかとても正気とは思えない話が出ているようですが、もっと地に足をつけた現実的なことを議論してほしい。(例：スポーツ振興策として多目的総合グラウンドを作る。)</p>
<p>本庄市が行なっている、スポーツ施設などの利用料の負担軽減（すべての子供が使いやすい料金にしてもらいたい）。施設の空き情報のデジタル化。こども政策の一環として盛り込んでほしい。</p>
<p><これからは、あったらいいな。と思う事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館の冷房。熱中症が心配です。 ・ 幼児や小学生の公園の充実や、中学生、高校生、もっと大人も利用できるスケボーパークなどあったらいいです。
<p>旧トライアルの土地を何かにして欲しい。この辺は広くて整備された、ジョギングできるような公園がない。競技場も本庄から上里にかけては空白地帯。競技場を作って欲しい。</p>
<p>長幡には公園があるのですか？ 非耕作地の利用。</p>
<p>このはなパークは、この暑さの中日陰が欲しい。木々を植えるとか、バンチ日よけをつくるとか、遊具を置くとか、子どもが楽しめる場が欲しいです。</p>

【8 良いまちづくり（抽象的意見）】

校正
より住民の負担軽減かつ、地元を活性化していくような取り組みを期待しています。
上里町独自の事を創造する。
良いまちづくりで、誇れる上里町を目指したいです！
明るく楽しい町になるようお願いします。
30年以上住んでいながら日々他市への仕事で町の行政に興味がなく、質問に対しても“わからない”の一言しかありません。ただ思う事は、持ち家である事からこれからも住み続けなければならないので住みやすく、きれいな町であってほしいと思っています。
役場担当者の方々、色々な意見より町の発展に役立つ事があればと思います。アンケートでこのような事項について意見が言えるとは考えていませんでしたので、アンケートの回答をして行く中で、もっと町行政について見識を深めていけば良かったと反省しております。これら一つ一つの事柄について具体的に意見を言える場があれば、もっと見識を深めてご意見を言えるのかなとも思います。これからも役場の方々、束ねる山下町長 大変なお仕事ですが、今後もよろしくお願い致します。報われる日が来ます様に祈ります。
あらゆる世代が交流を密にし、お互いを思いやる心で明るい町づくりができるよう行政の働きを期待します。

【9 地域公共交通の充実・改善】

自由意見
<p>提案1：AI オンデマンド交通 × 夜だけシャトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組み：夜間（18時～24時）限定で、AI配車の「乗り合いバス／タクシー」を運行。スマホアプリやLINEから予約すれば、最寄りの停留ポイントまで迎えに来る。 ・参考例：徳島県三好市の「MaaS実証実験」や、埼玉の深谷市でもAIオンデマンド交通が始まっている。 ・効果：飲み会帰りでも安全に帰宅できて、代行よりも安い。「車なしで夜遊びできる」というだけで、若者の心理的ハードルが下がる。 <p>（中略）</p> <p>提案4：シェア電動キックボード / E-bike</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕組み：駅・主要飲食店・住宅街にポートを設置して、電動モビリティをシェアリング。 ・効果：ちょっとした移動はサクッと済ませられるし、車なしの若者や学生でも夜に動ける。
<p>高齢者がこむぎっちバスに乗る際バス停まで行くのが大変なので使えないのもったいない。人間ドッグを受けているが町内で受けられる場所がなく県外まで受けに行っているのが充実させて欲しい。</p> <p>通学や習い事の送迎などでこむぎっちバスなどが使えるといいのと思います。</p>
<p>私は障害者なので、デマンド交通を良く利用します。自宅は北部エリアにあり、実家は南部エリアにあります。乗継は非常に不便なので、直通にしてもらいたいです。その代わり運賃は倍になっても良いです（北部→南部直通片道400円（障害者運賃の場合））。こむぎっち号は、ほぼ乗ってる人がいないので廃止でいいと思います。その代わり、デマンドを充実させて、ライドシェアの導入も良いと思います。</p>
<p>これから高齢者が増えるのでバス、タクシーの時間帯を増やしてほしい。タクシー、バスの運賃も安く（できるだけ）してほしい。</p>

自由意見
小学生、中学生、高校生の通学バスの普及 歩く事は大事だが、最近の気候は暑すぎたり、朝夕問わず急な雷などが多すぎる為、働いている親は迎えに行く事もできず、ただ安全を祈るのみなので、こむぎっちバスのように、大まかな場所までの通学バスがあればいいな。と思いました。
こむぎっち号の利用者が少ないのでは？ 人それぞれ利用したい場所があるので、利便性を考えてタクシーの利用ができる補助券の配布にしてほしい。現バスは小中学校のスクールバスに移行はどうか？ 遠くから通学している児童対象に利用可能に！
高齢者免許返納について対策をお願いします。買い物通院等の交通の便について細かな、手配をお願いしたいと思います。現在のこむぎっち号では、大まかすぎて利用できません。
デマンド交通は 70 才以上無料希望。

【10 医療体制の充実】

自由意見
小児の病院を増やしてほしい。
救急車が一台しか無いのが気になります。せめて二台あった方が良いでしょうと思います。
神保原駅南口通りが閑散としているので、ショッピングモールや総合病院といった施設の誘致を考えていただきたい。
上里には産婦人科がないので作ってほしい。
医療の充実、他県に頼らず高度医療の充実や発展を希望しているが、本庄児玉医師会の影響が強いのか公立病院があればうれしい。私立でも今ある病院よりもきちんと医療提供できる病院があればうれしい。
駅北側に総合病院をつくってほしい（ヤマトの土地）。
大きな病院の誘地をお願いしたい。

VI 調査票

第6次上里町総合振興計画後期基本計画策定のためのアンケート調査

あなたご自身のことについて

問1 あなたご自身のことについて伺います。(それぞれ1つに○)

(1) 性別	1. 男	2. 女	3. その他						
(2) 年齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳代	9. 90歳以上
(3) 職業等	1. 自営業・自営業の家族従業者		2. 会社員・公務員(派遣含む)						
	3. 臨時雇用・パート		4. 学生	5. 家事専業	6. 無職				
(4) 業種	((3)職業等で「1.」～「3.」を選択した方のみ)								
	1. 農業	2. 製造業	3. 建設業	4. 卸小売業	5. 医療・福祉				
	6. 宿泊・飲食サービス業		7. その他サービス業		8. その他				
(5) 居住地	1. 賀美小学校区	2. 長幡小学校区	3. 七本木小学校区						
	4. 上里東小学校区		5. 神保原小学校区						

お住まいについて

問2 あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 戸建て(持ち家)	2. 戸建て(借家)	3. 民間の賃貸アパート
4. 公営住宅	5. 社宅・寮	6. その他()

問3 あなたは、上里町に住み始めてから、何年になりますか。町外に一度出て戻られた場合は、通算した年数をお答えください。(1つに○)

1. 1年未満	2. 1年～3年未満	3. 3年～5年未満
4. 5年～10年未満	5. 10年～15年未満	6. 15年～20年未満
7. 20年以上	8. 生まれた時からずっと(転出経験なし)	

問4へ

【問3で「1. 1年未満」～「7. 20年以上」を選択した方に伺います。】

問3-1 あなたは、現在の住所に来られる直前に、どちらにお住まいでしたか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------|--------------|
| 1. 町内の別住所 | 2. 本庄市 | 3. 神川町 |
| 4. 美里町 | 5. 深谷市 | 6. 藤岡市 |
| 7. 高崎市 | 8. 伊勢崎市 | 9. 埼玉県の他の市町村 |
| 10. 群馬県の他の市町村 | 11. その他 (| 都道府県) |

問3-2 現在の住所に転入(転居)した理由に、近いものを選んでください。

(あてはまるもの3つまでに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 勤務地または通学地までの公共交通が便利だと思った |
| 2. 自家用車による交通の便がよく、どこに行くにもアクセスしやすいと思った |
| 3. 商業施設が充実していると思った |
| 4. 子どもを育てる環境がよいと思った |
| 5. 高齢者施設が充実していると思った |
| 6. 医療施設が充実していると思った |
| 7. 自然環境がよいと思った |
| 8. 地域の街並みがきれいだと思った |
| 9. スポーツや文化活動などを行える公共施設が充実していると思った |
| 10. 家賃や住宅分譲地など、適当な価格の物件があった |
| 11. 物価が安いと思った |
| 12. 安全安心な環境がよいと思った |
| 13. 近くに親類・友人が住んでいた |
| 14. その他 () |

子どもと子育て支援について

問4 あなたには現在お子さんはいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 子どもはいない | 2. 未就学児がいる |
| 3. 小学生の子どもがいる | 4. 中学生の子どもがいる |
| 5. 高校生の子がいる | 6. 大学・専門学校生などの子どもがいる |
| 7. 学校は卒業した子どもがいる | |

【問8で「1. 住みよい」「2. まあまあ住みよい」を選択した方に伺います。】

問8-1 上里町が住みやすいと感じる点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 公園や自然などの環境がよい | 2. 町内の交通の便がよい |
| 3. 町外への交通の便がよい | 4. 就労の機会が多い |
| 5. 治安がよい | 6. 防災体制が整っている |
| 7. 保育・教育のサービスがよい | 8. 医療・福祉のサービスがよい |
| 9. 近所のつきあい、地域活動の活発さ | 10. 公共施設などが充実している |
| 11. 買い物の場所や手段が充実している | 12. その他() |
| 13. わからない・特になし | |

(次は問9へ)

【問8で「3. あまり住みよくない」「4. 住みよくない」を選択した方に伺います。】

問8-2 上里町が住みよくないと感じる原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 公園や自然などが少ない | 2. 町内の交通の便が悪い |
| 3. 町外への交通の便が悪い | 4. 就労の機会が少ない |
| 5. 治安が悪い | 6. 防災体制が整っていない |
| 7. 保育・教育のサービスが不十分 | 8. 医療・福祉のサービスが不十分 |
| 9. 近所のつきあい、地域活動が少ない | 10. 公共施設が充実していない |
| 11. 買い物の場所や手段が少ない | 12. その他() |
| 13. わからない・特になし | |

【ここから再び全員に伺います。】

問9 あなたは、今後も上里町に住み続けたいですか。(1つに○)

1. ずっと住み続けたい	2. 当分は住み続けたい	3. わからない	問10へ
4. いずれ町外に転出したい	5. すぐに町外に転出したい		

【問9で「4. いずれ町外に転出したい」、「5. すぐに町外に転出したい」を選択した方に伺います。】

問9-1 転出する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 進学・転勤・就業のため	2. 結婚のため
3. 妊娠・出産のため	4. 子どもの学校のため
5. 親の介護のため	6. 町の行政サービスに不満足なため
7. 生活環境がよくないため	8. 公共交通がよくないため(電車・バス等)
9. その他()	10. 理由はない

【ここから再び全員に伺います。】

社会活動や仕事について

問10 上里町では、新たな事に挑戦・成長するための機会があると思いますか。

(1つに○)

1. あると思う	2. どちらかといえばあると思う
3. どちらかといえばないと思う	4. ないと思う

問11 上里町では、やりたい仕事を見つけやすいですか。(1つに○)

1. 見つけやすい	2. どちらかといえば見つけやすい
3. どちらかといえば見つけにくい	4. 見つけにくい

健康について

問12 あなたは現在、「健康」だと思えますか。(1つに○)

1. そう思う	2. ややそう思う	問12-1へ
3. あまり思わない	4. まったく思わない	問12-2へ

【問12で「1. そう思う」「2. ややそう思う」を選択した方に伺います。】

問12-1 あなたが健康だと感じることは、どういうことに気をつけているからだと思いますか。(主なものを3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 定期的に運動しているから | 2. ストレスをためないように気をつけているから |
| 3. 食事の量やバランスなどに気をつけているから | 4. 規則正しい生活を心がけているから |
| 5. 酒を飲まない、または飲む量に気をつけているから | 6. たばこを吸わない、または吸う量に気をつけているから |
| 7. 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲を持っているから | |
| 8. 医療機関等で定期検診を受けているから | |
| 9. その他(具体的に:) | |

(次は問13へ)

【問12で「3. あまり思わない」「4. まったく思わない」を選択した方に伺います。】

問12-2 あなたが健康だと感じることはできないのは、どういうことが原因だと思いますか。(主なものを3つまでに○)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 定期的に運動をしていないから | 2. ストレスをためてしまうから |
| 3. 偏食や食事時間の不規則が多いから | 4. 規則正しい生活ができていないから |
| 5. 適量以上の酒を飲むから | 6. たばこを吸うから |
| 7. 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲がないから | |
| 8. その他(具体的に:) | |

【ここから再び全員に伺います。】

問13 あなたは、過去1年間に、スポーツ・レクリエーション活動をする機会がどのくらいありましたか。(散歩やウォーキング、軽い体操、子どもとの体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含めます。)(1つに○)

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 週に3回以上 | 2. 週に2回程度 | 3. 週に1回程度 |
| 4. 月に1~3回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. ない |

問20 あなたは、町の商業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(主なものを2つまでに○)

1. 神保原駅周辺や国道17号沿線の商業環境の整備
2. 上里サービスエリアでの地元事業者のイベント出店の促進
3. 起業・創業を希望する人への支援
4. 大規模な店舗(スーパー、デパートなど)の誘致
5. 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実
6. 商業経営の時代に沿ったサービスの向上のための支援の充実
7. その他(具体的に:)
8. 現状のままでよい
9. わからない

問21 あなたは、町の工業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(主なものを2つまでに○)

1. 既存企業の育成・振興
2. 工業用地の整備と優良企業の誘致
3. 起業家への支援や新産業の開発・育成
4. 既存企業の集約等による住宅地域・工業地域混在の解消
5. その他(具体的に:)
6. 現状のままでよい
7. わからない

問22 あなたは、町の観光振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(主なものを2つまでに○)

1. まちの歴史・文化をテーマとした観光機能の充実
2. 観光農業や河川の自然環境を活用した上里SA周辺地区の整備事業の推進
3. イベントや祭りの内容の充実
4. 近隣市町村との連携による観光ルートの設定
5. その他(具体的に:)
6. 現状のままでよい
7. わからない

男女共同参画の推進について

問23 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(①～③のそれぞれについて、どちらかが優遇されている、または平等と思うという1～6の番号1つに○)

項 目	男性 優遇	どちらかといえば 男性優遇	平等	どちらかといえば 女性優遇	女性 優遇	わから ない
①法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
②社会全体では	1	2	3	4	5	6
③家庭生活では	1	2	3	4	5	6

教育環境について

問24 上里町の年少人口（15歳未満人口）は、2000年で5,145人いましたが、2020年は3,556人になり、2040年には2,135人に減少していく見込みになっています。今後も年少人口が減少する中で学校を取り巻く教育環境に何が必要と考えますか。（主なもの2つまでに○）

1. デジタルを活用した学びの拡充
2. 教員の数を減らさずに質の高い教育
3. 子どもの安全、安心のための設備の拡充
4. 2クラス以上による友達づくりや学びあいの推進
5. 地域の住民や団体とのつながりの強化

各分野の満足度・重要度について

問35 上里町の生活環境やまちづくりの現状について、おたずねします。以下の各項目の現状についてどの程度満足していますか。また、今後上里町が取り組むべき重要度についてお答えください。
(それぞれの項目について、あてはまる番号1つずつに○)

項目		満足度					重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
記入例	(0) ○○の充実	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(1) 保健・医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(2) 地域福祉の充実（住民相互の支え合い活動）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(3) 子ども・子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(4) 高齢者福祉・介護の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(5) 障害者（児）福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(6) 経済的困窮者への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境	(7) 都市基盤の充実（道路や歩道の整備など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(8) 情報基盤・発信力の強化（インターネットの環境整備やそれを活用した情報発信）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(9) 環境保全の推進（自然保護、ごみ・排水処理、省エネなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(10) 快適な住環境の確保（安全な住宅や水道の整備等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(11) 公園の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(12) 消防・防災の強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(13) 防犯対策の強化（防犯灯、防犯カメラの設置等）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(14) 交通安全対策の強化（交通安全教育、交通安全施設の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業振興	(15) 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(16) 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(17) 観光・交流のまちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(18) 雇用対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	(19) 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(20) 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(21) 歴史・文化の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(22) 生涯スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
まちづくり・行財政	(23) まちづくりへの参画の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(24) まちづくりの情報提供の発信	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(25) 健全な行財政運営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(26) 行政サービスの電子化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(27) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(28) 人権擁護の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

